

## 2025 年 11 月新聞書評に掲載された本



### 最新日本酒の科学～水・米・麴の伝統の技～(ブルーバックス B-2310)

和田 美代子 著

講談社

シンプルな原料から生まれ、奥深く、多彩な表情を見せる日本酒。水、米、麴といった原料がどのようにして酒へと変わっていくのか、その過程をたどりながら、科学的な視点から日本酒の魅力を解き明かす。

2025.9./ 316p  
978-4-06-541169-8

¥1,320〔税込〕



9 78 4065 411698

産経新聞 2025/11/02



### 家族

葉真中 顕 著

文藝春秋

裸の女性が交番に駆け込み、「事件」が発覚した。彼女を監禁していた「おかしな女」こと夜戸瑠璃子は、自らのまわりに疑似家族を作り出し…。「尼崎連続変死事件」をモチーフとした、戦慄のクライムエンターテインメント。

2025.10./ 315p  
978-4-16-392030-6

¥1,980〔税込〕



9 78 4163 920306

産経新聞 2025/11/02



### 5分で深掘り!小泉八雲のホントの怪談～雑学×漫画～

ササキタカシ／田辺青蛙 著

竹書房

知ってるつもりの有名どころから、隠れた傑作・怪作まで、小泉八雲の「怪談」を漫画と新訳で紹介。円城塔訳のコミカライズ3話、小泉八雲&妻セツの素顔、知られざるエピソードも掲載する。

2025.10./ 223p  
978-4-8019-4633-0

¥1,540〔税込〕



9 78 4801 946330

産経新聞 2025/11/02

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2025 年 11 月時点での税込み価格です。



## ハーバード、スタンフォード、オックスフォード...科学的に証明されたすごい習慣大百科～人生が変わるテクニック 112 個集めました～

堀田秀吾 著

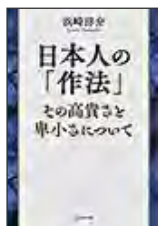
S Bクリエイティブ

勉強も貯金も、ダイエットも目標達成も、習慣化が 10 割! 世界中の心理学、行動経済学、脳科学などの研究をベースに「もっとラクに、もっと自然に、習慣化できる方法」を紹介する。キーワード用語辞典付き。

産経新聞 2025/11/02

2025:7./ 287p  
978-4-8156-3341-7

¥1,760〔税込〕



## 日本人の「作法」～その高貴さと卑小さについて～

浜崎洋介 著

ビジネス社

全ての価値を疑いのなかに放り込んでしまう「近代」という時代を前にして、いかにして日本人の倫理=信仰は可能になるのか。この古くて新しい問いを改めて考えるための人物論を中心に編んだ、「反戦後論」に続く第 2 評論集。

産経新聞 2025/11/02

2025:7./ 279p  
978-4-8284-2750-8

¥1,980〔税込〕



## 「美食の国」フランスの誕生～ガストロノミーが作ったおいしい歴史～

梶谷 彩子 著

慶應義塾大学出版会

革命から、レストラン誕生、技術革新、地方料理の再発見まで。19～20 世紀の文化をひもとき、フランスが「美食の国」として確立していく過程を描く。「1852 年のフランス美食地図」をダウンロードできる QR コード付き。

産経新聞 2025/11/02、読売新聞 2025/11/02

2025:10./ 256p  
978-4-7664-3055-4

¥2,970〔税込〕



## <幕府>の発見～武家政権の常識を問う～(講談社選書メチエ 831)

関 幸彦 著

講談社

平氏や信長・秀吉の政権を「幕府」とは呼ばず、鎌倉・室町・江戸の政権のみを「幕府」とするのはなぜだろうか。近世・近代の各史論書で「幕府」なるものの理解のされ方を提示し、史学史的文脈で「幕府」について考える。

産経新聞 2025/11/02、日本経済新聞 2025/11/22

2025:10./ 189p  
978-4-06-541369-2

¥1,870〔税込〕



## 犯罪被害者代理人(集英社新書 1283)

上谷さくら 著

集英社

性犯罪、交通事故、殺人などの被害者側を支援する弁護士が、実例とともに「犯罪被害者代理人」の仕事を紹介。被害者が直面する厳しい現実から、メディアの功罪、警察や司法の問題点にいたるまでを解説する。

産経新聞 2025/11/09

2025:10./ 254p  
978-4-08-721383-6

¥1,100〔税込〕





**日本終戦史 1944-1945〜和平工作から昭和天皇の「聖断」まで〜(中公新書 2867)**

波多野 澄雄 著

中央公論新社

米・中・英・ソとの第2次世界大戦はどう終わったか。最新研究を踏まえ、昭和天皇・近衛文麿・木戸幸一・鈴木貫太郎らの肉声を辿り、「狂気の時代」の真実と結末を見通す。年表も収録。

産経新聞 2025/11/09

2025:7./ 336p  
978-4-12-102867-9

¥1,210〔税込〕



**なぜ人は穴があると覗いてしまうのか〜人を“その気”にさせる仕掛け学入門〜(幻冬舎新書 ま-17-1)**

松村真宏 著

幻冬舎

好奇心に働きかけて、覗き穴を使った仕掛けを作ると、自然と人は集まってくる。街中で見つけた「これぞ」という仕掛け 47 種を楽しく解説。誰でも仕掛けのアイデアが見つかる 6 つのコツも伝授する。

産経新聞 2025/11/09

2025:9./ 219p  
978-4-344-98786-9

¥1,034〔税込〕



**まちは言葉でできている**

西本 千尋 著

柏書房

「みんなのため」に進められる再開発の矛盾に目を凝らし、その暴力性に抗っていくために、専門家や行政の言葉ではなく、生活にねざした言葉でまちを語り直す。2000 年代中頃から約 20 年間のまちづくり現場の記録。

産経新聞 2025/11/09

2025:10./ 215p  
978-4-7601-5647-4

¥1,980〔税込〕



**南天鳩**

黒岩 隆 著

思潮社

夜は 思いがけなく 細い首をみせて 月光に揺れる 岸辺の芦原に倒れていた 許して 許さないで 風が芦を揺する 猿酒の酔いを揺する 私は 夜を抱き上げる 赤子のように 首をささえて(「芦の里」より) 詩集。

産経新聞 2025/11/09

2025:9./ 84p  
978-4-7837-4625-6

¥2,750〔税込〕



**見仏記 三十三年後の約束**

イトウ セイこう/みうら じゅん 著

KADOKAWA

小学生時代に仏像に魅せられたみうらじゅんが、1992 年、仏友・イトウセイこうを巻き込み「見仏記」が生まれた。そこから 33 年、「約束の地」三十三間堂へ。仏友ふたりの見仏の旅。note 掲載をもとに書籍化。

産経新聞 2025/11/09、東京・中日新聞 2025/11/23

2025:10./ 260p  
978-4-04-116690-1

¥3,333〔税込〕





## 涙の箱

ハン・ガン 著

評論社

ある村にひとりの子どもが住んでいた。その子は、みんながまるで予測も理解もできないところで涙を流した。ある日、涙を集めている男が、子どもを訪ねてきて…。ノーベル文学賞作家ハン・ガンがえがく、大人のための童話。

産経新聞 2025/11/09、読売新聞 2025/11/30

2025:8./ 85p  
978-4-566-02489-2

¥1,650〔税込〕



## 宮殿の古代史～飛鳥から藤原、平城、平安へ～(集英社新書 1282)

海野聡 著

集英社

国の威信や天皇の権威・権力を象徴した日本の古代宮殿。現存する建築物・文献史料・発掘遺構などの最新の研究成果をもとに、中央・地方の豪族・民衆を掌握し、全国を統治する装置を兼ねた古代宮殿の実態を解き明かす。

産経新聞 2025/11/16

2025:10./ 307p  
978-4-08-721382-9

¥1,309〔税込〕



## アルファベット順の文化史～図書館の分類法からオリンピックの国別入場まで～

ジュディス・フランダース 著

原書房

頭文字の順番で並べることが情報を分類という新たな世界に導いた。順序づけと分類方法の歴史、特にアルファベット順での並べ替えがどのように定着したかを考察する。

産経新聞 2025/11/16

2025:9./ 382p  
978-4-562-07570-6

¥3,850〔税込〕



## さよならジャバウォック

伊坂 幸太郎 著

双葉社

結婚直後の妊娠と夫の転勤。その頃から夫は別人のように冷たくなった。そして今、自宅マンションの浴室で夫が倒れている。私が殺したのだ。途方に暮れていたところ、大学時代のサークルの後輩・桂凍朗が訪ねてきて…。

産経新聞 2025/11/16

2025:10./ 338p  
978-4-575-24852-4

¥1,870〔税込〕



## 動物たちのインターネット～生きものたちの知られざる知性と驚異のネットワーク～

マーティン・ヴィケルスキ、プレシ南日子 著

山と溪谷社

ネズミは地震の数日前に逃げ、渡り鳥は夜空で会話し、アシカの子どもは人間と動物の関係性を3年越しに記憶していた-。動物たちの驚くべき知性と相互作用、そして人間との関係を描いたサイエンス・ノンフィクション。

産経新聞 2025/11/16

2025:9./ 311p  
978-4-635-23027-8

¥2,420〔税込〕





## 石井幹子 光賛美

石井 幹子 著  
求龍堂

照明デザイナー・石井幹子の作品集。エッフェル塔、皇居外苑、東京ゲートブリッジ、東京タワー、長野灯明まつりなど、2009年から2024年までの16年間に完成した事例を収録する。

産経新聞 2025/11/16

2025:10./ 247p  
978-4-7630-2513-5

¥9,900〔税込〕



## 本が生まれるいちばん側で

藤原印刷 著  
ライツ社

「ZINEの聖地」と呼ばれた、長野県松本市にある老舗印刷会社・藤原印刷。三代目・藤原兄弟の本づくりへの熱い想い、そして、個人の「自分で本をつくりたい」という想いに応え、伴走し続けてきた15年の軌跡を語る。

産経新聞 2025/11/16

2025:9./ 227p  
978-4-909044-64-8

¥2,530〔税込〕



## なぜ人は締め切りを守れないのか

難波優輝 著  
堀之内出版

ときに人々を苦しめ、ときに人々を奮い立たせる「締め切り」とは何なのか? 「締め切り」から現代社会に深く埋め込まれたルールを描き出し、豊かな生き方を探る哲学的冒険。

産経新聞 2025/11/16

2025:10./ 295p  
978-4-911288-20-7

¥1,980〔税込〕



## 境界線の世界史～歴史を変えた47の国境の物語～

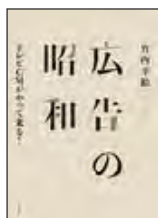
ジョン・エレッジ 著  
原書房

欧州の「誕生」、中国と朝鮮半島、ロシアとウクライナ…。国境はなぜ生まれ、いかにして世界をかたちづけてきたのか。戦争、条約、思惑が交錯する境界線の歴史を辿りながら、現代世界の成り立ちを鋭く照らし出す。

産経新聞 2025/11/23

2025:7./ 423p  
978-4-562-07552-2

¥3,080〔税込〕



## 広告の昭和～テレビCMがやって来る!～

竹内 幸絵 著  
青土社

広告の首座が名実ともに印刷媒体から電波媒体に移行した時代、昭和。名作だけではない、多くの「そのとき普通の人々の身近にあった」広告図像を元に、広告の視座から激動の昭和を問い直す。図版も多数収録する。

産経新聞 2025/11/23

2025:6./ 400p  
978-4-7917-7719-8

¥4,950〔税込〕







## もし12歳が「昭和100年」を見たら～日本人のための現代史物語～

産経新聞社 著

産経新聞出版

「昭和」という時代が始まってから100年間。当時の市井の人々の日記や文集、新聞記事や新聞投稿などを参考に、「12歳の目線」でおもな年ごとにリアルな昭和を再現した現代史物語。『産経新聞』連載を大幅に加筆。

産経新聞 2025/11/23

2025.10./ 383p  
978-4-8191-1464-6

¥2,310〔税込〕



## 中国共産党歴史を書き換える技術(ワニブックス|PLUS|新書 437)

楊 海英 著

ワニブックス

チンギス・ハーンは中国の英雄？日本へやってくる中国人の富裕層・留学生たちが持つ「ありえない歴史認識」が、日本を破壊している。モンゴル出身の著者が、中国共産党の歴史捏造による“侵略のプロセス”を暴く。

産経新聞 2025/11/23

2025.10./ 223p  
978-4-8470-6719-8

¥1,100〔税込〕



## 置き配的

福尾匠 著

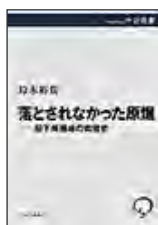
講談社

コロナ禍以降、社会は置き配的なものとなった。メッセージの伝達より「ポジション」というメタデータの共有が優先される社会で、いかにして言葉の力を取り戻すことができるかを考える。『群像』連載を改題、加筆修正。

産経新聞 2025/11/30

2025.11./ 237p  
978-4-06-540137-8

¥2,310〔税込〕



## 落とされなかった原爆～投下候補地の戦後史～(中公選書 162)

鈴木 裕貴 著

中央公論新社

原爆が落とされるかもしれない、小倉、新潟、横浜、京都。この史実は、いかに発掘され、受け止められ、継承されてきたか。47都道府県の被団協に注目し、広島・長崎以外の被爆問題も考える。

産経新聞 2025/11/30

2025.11./ 280p  
978-4-12-110164-8

¥2,200〔税込〕



## 福田和也コレクション<2> なぜ日本人はかくも幼稚になったのか

福田和也 著

ベストセラーズ

不穏な令和を、学び闘い抜くために。 “知の怪物”福田和也のコレクション。2は、「日本とは何か」「ナショナリズムとは何か」の2部構成で、多数のエッセイ・批評を収録する。佐藤優の解説付き。

産経新聞 2025/11/30

2025.10./ 671p  
978-4-584-14005-5

¥6,050〔税込〕





#### 四季と機器(書肆海と夕焼叢書 001)

池谷 和浩 著

よはく舎

デバイス、アプリ。21世紀のテクノロジーが当たり前のベースとなった社会で、新しくなったことと変わらない人の営み…。ある双子の姉妹を中心に大学という場所、またそこに集う人間たちを描いた小説。

産経新聞 2025/11/30

2025:10./ 190p  
978-4-910327-27-3

¥1,870〔税込〕



#### 会社は「本」で強くなる～マネーフォワード全社で取り組む「読書経営」～

宮本 恵理子 著

日経BP社

人も組織も成長する「本」活用の秘訣とは？ 辻庸介グループCEOから現場まで、マネーフォワードの社員2900人に根づく「読書文化」を徹底取材する。ブックリスト付き。

産経新聞 2025/11/30、読売新聞 2025/11/30

2025:10./ 244p  
978-4-296-12161-8

¥1,870〔税込〕



#### 豊臣家の女たち(岩波新書 新赤版 2086)

福田 千鶴 著

岩波書店

寧(北政所)と茶々(淀殿)はしばしば対立する妻と愛妾のように描かれるが、彼女たちは本当に敵対していたのだろうか？ 豊臣家の栄枯盛衰に、妻、母、姉妹、養女、奥女中など欠くことのできない女性たちのまなざしから迫る。

朝日新聞 2025/11/01

2025:10./ 278p  
978-4-00-432086-9

¥1,166〔税込〕



#### 無伴奏(集英社文庫)

小池 真理子 著

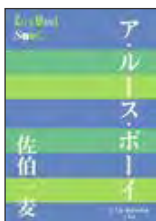
集英社

60年代末期の熱狂の中で出会った男と女。学園紛争、デモ、反戦集会。杜の都・仙台で芽生えた小さな恋が20年ぶりに甦る、危険で甘美でミステリアスな長編小説。

朝日新聞 2025/11/01

1994:9./ 290p  
978-4-08-748212-6

¥539〔税込〕



#### ア・ルース・ボーイ(P+D BOOKS)

佐伯 一麦 著

小学館

性悪な教師をブン殴って名門高を中退した17歳の斎木鮮は、元恋人・幹とアパートで暮らし始める。幹もまた父親の分からない子を産み、女子高を退学していた…。生きる意味を必死に探す若者を描いた、爽やかな青春小説。

朝日新聞 2025/11/01

2019:8./ 187p  
978-4-09-352372-1

¥660〔税込〕





**荒地の家族(新潮文庫 さ-97-1)**

佐藤 厚志 著

新潮社

40歳の植木職人の祐治は、10数年前の災厄によって仕事道具を全て攫われ、その2年後、妻を病気で喪う。自分を追い込み仕事に没頭するが、なぜあの人は死に、自分は生き残ったのかと、答えのない問いを抱え、彷徨い続け...

朝日新聞 2025/11/01

2025:6./ 170p  
978-4-10-105961-7

¥572〔税込〕



**マイブック〜2026年の記録〜(新潮文庫 ん-70-28)**

新潮社

マイブックには、日付と曜日しか入っていません。これは2026年のあなたがつくる、世界に一冊だけの本。毎日使い続けて完成させたなら、他のどの本よりも記憶に残る、とっておきの「自分の本」になっているはずです。

朝日新聞 2025/11/01

2025:10./ 399p  
978-4-10-120878-7

¥539〔税込〕



**重力ピエロ(新潮文庫)**

伊坂 幸太郎 著

新潮社

朝日新聞 2025/11/01

2006:6./ 485p  
978-4-10-125023-6

¥935〔税込〕



**これはいつかのあなたとわたし**

燃え殻 著

新潮社

「原稿、泣きながら拝んで読みました」と持ち上げながら必ず直しを命じる編集者、初ラブホでの醜態、母の口癖...。忘れかけたことを綴り、あるあると哀愁に満ち満ちたエッセイ集。『週刊新潮』連載に加筆修正。

朝日新聞 2025/11/01

2025:9./ 215p  
978-4-10-351016-1

¥1,815〔税込〕



**護られなかった者たちへ(宝島社文庫 このミス大賞 C な-6-11)**

中山 七里 著

宝島社

仙台市で拘束状態の餓死死体が発見された。被害者は人格者として知られ、怨恨が理由とは考えにくく、捜査は暗礁に乗り上げる。一方、死体発見から遡ること数日、模範囚が出所し...。2021年10月公開の同名映画の原作。

朝日新聞 2025/11/01

2021:8./ 477p  
978-4-299-00633-2

¥858〔税込〕







### わたしのマトカ(幻冬舎文庫)

片桐 はいり 著

幻冬舎

映画の撮影で一カ月滞在した、フィンランド。森と湖の美しい国で出会ったのは、薔薇色の頬をした、シャイだけど温かい人たちだった。旅好きな俳優が綴る、笑えて、ジンとくる名エッセイ。

朝日新聞 2025/11/01

2010:2./ 193p  
978-4-344-41425-9

¥660〔税込〕



### 文庫手帳 2026(ちくま文庫 ん-1-39)

筑摩書房

あなたの日常が一年後、世界でたった一冊の大切な本になる。見た目は文庫で中身は手帳。安野光雅デザイン、39年目のロングセラー。

朝日新聞 2025/11/01

2025:10./ 200p  
978-4-480-44060-0

¥880〔税込〕



### レトロの片隅で(ニチブンコミックス)

昌原 光一 著

日本文芸社

先生(漫画家)の引退を機に、アシスタントのナミは人生の岐路に立つ!! “少女漫画村”で生きていたアラフィフの彼女にとって、世間は何もかもが初めて尽くしー新たな職場となったレトロ玩具店で、自分と居場所を模索していきます♪

朝日新聞 2025/11/01

2025:10./ 224p  
978-4-537-17299-7

¥1,650〔税込〕



### フィールドワークのちから～「いまここ」を抜け出す人類学～

奥野 克巳 著

亜紀書房

異文化や他者や自然にぶつかって、自分を揺さぶられ、世界の見方そのものを変えてしまうフィールドワーク。人類学者・奥野克巳が、フィールドワークとはなにか、その「ちから」はどこに宿るのかを、自身の経験を交え考察する。

朝日新聞 2025/11/01

2025:8./ 242p  
978-4-7505-1885-5

¥1,980〔税込〕



### リミタリアニズム～財産上限主義の可能性～

イングリッド・ロベインズ 著

草思社

誰も 1000 万ドル以上持つべきではない。超富裕層が民主主義を歪め、環境を悪化させ、不平等を拡大している実態を指摘し、いまこそ「財産に上限を設ける」ことを真剣に議論すべき理由を説く。大胆にして新しい政治哲学。

朝日新聞 2025/11/01

2025:9./ 432p  
978-4-7942-2786-7

¥3,520〔税込〕





## 芸術、失われた信頼をもとめて(水声文庫)

杉田敦 著

水声社

アートが社会的・政治的な転回をなそうとする 2017 年。激動の国際情勢のなかでアートに注がれる眼差しと社会はいかに変容したか。様々な国際展を経巡り考察する。『ARTiT』連載を加筆修正、書き下ろしを加え単行本化。

朝日新聞 2025/11/01

2025.9./ 396p

978-4-8010-0884-7

¥3,960〔税込〕



## 100 まんびきのねこ(世界傑作絵本シリーズ)

ワンダ・ガグ 著

福音館書店

ねこを 1 匹ほしいおじいさんが、丘こえ谷こえ探しに出かけ、100 まんびきのねこがいる丘を見つけました。世界中の子どもに愛され続けている絵本の古典です。

朝日新聞 2025/11/01

1980.1./ 32p

978-4-8340-0002-3

¥1,100〔税込〕



## 私のうた

左右社編集部 編

左右社

朝日新聞 2025/11/01

2025.9./ 136p

978-4-86528-485-0

¥1,980〔税込〕



## アンチ・アクション～彼女たち、それぞれの応答と挑戦～

豊田市美術館／東京国立近代美術館 著

青幻舎

赤穴桂子、榎本和子、江見絹子、草間彌生…。1950 年代～60 年代の日本の女性美術家による創作を「アンチ・アクション」というキーワードから見直し、日本の近現代美術氏の再解釈を試みる。同名展覧会の公式カタログ。

朝日新聞 2025/11/01

2025.10./ 289p

978-4-86831-017-4

¥3,630〔税込〕



## 僕の人生も変わるんだ～対話で未来を作った高校～

竹村登茂子 著

文理閣

課題を抱えた生徒が高校を無事に卒業し、社会に出ていくためには何が必要か。対話を通じて課題やトラブルを解決する手法を学び、傾聴・共感しコミュニケーション力を高める教育実践を、生徒と教師の生の声を交えて紹介する。

朝日新聞 2025/11/01

2025.9./ 120p

978-4-89259-971-2

¥1,320〔税込〕





## ブロッコリーパンチ

イ ユリ、山口 さやか 著  
リトル・モア

亡き父が植木になって戻ってくる「赤い実」、アイドルを押しすぎて大ピンチに陥る「ぶかぶか」、彼氏の手がブロッコリーになってしまう表題作など、奇想天外な全 8 編を収録。凹んだ心をスカッと救う小説集。

朝日新聞 2025/11/01

2025.9./ 318p  
978-4-89815-611-7

¥2,090〔税込〕



## 家守綺譚<上>

近藤 ようこ／梨木 香歩 著  
新潮社

時は明治時代、亡友の家の「家守」として暮らすことになった綿貫征四郎。彼を待っていたのは、草木の繁る庭、河童や人魚がやってくる池で…。梨木香歩の名作「家守綺譚」を漫画で描く。『波』連載を書籍化。

朝日新聞 2025/11/01、読売新聞 2025/11/02

2025.9./ 261p  
978-4-10-356471-3

¥1,870〔税込〕



## 家守綺譚<下>

近藤 ようこ／梨木 香歩 著  
新潮社

亡友の家の「家守」として暮らすことになった文筆家の綿貫征四郎。季節はめぐり、冬から春に。そして綿貫は、亡友の物語を書こうとする。梨木香歩の名作「家守綺譚」を漫画で描く。『波』連載を書籍化。

朝日新聞 2025/11/01、読売新聞 2025/11/02

2025.9./ 243p  
978-4-10-356472-0

¥1,815〔税込〕



## オーラル・ヒストリー入門(ちくま新書 1879)

佐藤 信 著  
筑摩書房

実践例を通してインタビューのノウハウを解説。「話し手の口述によること」「共有可能にしようとしていること」「話し手が歴史的事実を語り残そうとしていること」を実現するための手順を具体的かつ実践的に紹介する。

朝日新聞 2025/11/01、読売新聞 2025/11/23

2025.10./ 284p  
978-4-480-07711-0

¥1,078〔税込〕



## おにたろかっぱ

戌井昭人 著  
中央公論新社

3歳のタロと、崖っぷちミュージシャンの父ちゃん。門司港、山口、尾道、倉敷、京都…。ライブをしながら、2人は旅をして…。親子の時間のかけがえのなさに、笑いながら泣いてくる長篇小説。『読売新聞』連載を加筆・修正。

朝日新聞 2025/11/01、日本経済新聞 2025/11/08

2025.9./ 378p  
978-4-12-005947-6

¥2,860〔税込〕





**奔放な生、うつくしい実験～まつろわぬ黒い女たち、クィアでラディカルなものたちの親密な歴史～**

サイディヤ・ハートマン、ハーン 小路 恭子 著  
勁草書房

20 世紀の変わり目、アメリカ北部の都市部では、若い黒人女性による公然たる叛乱が繰り広げられていた。アフリカ系アメリカ人の活動に対する人種主義的統制の試みと、それを乗り越えてゆく黒人たちの自由な生の実践を綴る。

朝日新聞 2025/11/01、日本経済新聞 2025/11/15

2025.9./ 512p  
978-4-326-85206-2

¥3,960〔税込〕



**生きるための図書館～一人ひとりのために～(岩波新書 新赤版 1783)**

竹内 愼 著  
岩波書店

子どもにも大人にも、図書館は多様な場であり、図書館員はそこで本との出会いをつくる。60 年以上にわたって図書館に携わってきた著者が、公立図書館設立への原動力となった文庫活動、学校図書館の試みなどについて語る。

朝日新聞 2025/11/08

2019.6./ 238p  
978-4-00-431783-8

¥946〔税込〕



**石井桃子コレクション<3> 新編子どもの図書館(岩波現代文庫 文芸 254)**

石井 桃子 著  
岩波書店

50 年代半ばに欧米の図書館事情を視察し、日本の遅れを痛感した著者は、自宅で小さな図書館「かつら文庫」を開いた。本を読む子どもたちのいきいきとした表情を描き、子ども文庫、児童図書館の活動に示唆を与えた実践記録。

朝日新聞 2025/11/08

2015.3./ 334p  
978-4-00-602254-9

¥1,254〔税込〕



**罪の棲家(朝日文庫 や 51-1)**

矢樹純 著  
朝日新聞出版

父の遺品整理に集まった常盤家の三姉妹。末妹の美紀が提案したのは、実家の売却だった。しかし長女の智代が反発。そこには、決して家を売れない秘密があって…。『web TRIPPER』など掲載に書き下ろしを加え文庫化。

朝日新聞 2025/11/08

2025.9./ 272p  
978-4-02-265209-6

¥880〔税込〕



**夢詣(角川ホラー文庫 あ 13-1)**

雨宮 酔 著  
KADOKAWA

“死に至る夢”を見ると訴えていた女性と老人が突然死し、老人の胃から人外の血液が発見された。2 人の患者の死後、精神科医・紙森千里にも悪夢は「感染」する。一方、都市伝説<呪夢>を追うオカルトライターは…。

朝日新聞 2025/11/08

2025.10./ 359p  
978-4-04-116755-7

¥968〔税込〕





## 民主主義の躓き～民衆・暴力・国民国家～

小倉 充夫 著

東京大学出版会

民主主義は躓くことなくして前進しえない。民衆・暴力・国民国家がそれぞれ積極面と消極面をもつからである。植民地主義から昨今の社会的保守主義までを展望しつつ、民主主義の挫折と成熟の過程を歴史的かつ思想的に捉える。

朝日新聞 2025/11/08

2025:9./ 304p

978-4-13-030195-4

¥6,050〔税込〕



## 記者は天国に行けない～反骨のジャーナリズム戦記～

清武 英利 著

文藝春秋

四大証券会社の損失補填を暴いたスクープ記者時代、渡邊恒雄との対決の内幕...。「独裁者」に立ち向かった男が、恥辱に満ちた抵抗の半生と、特ダネに情熱を注ぐ反骨記者たちの生き様を描く。『文藝春秋』連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2025/11/08

2025:8./ 605p

978-4-16-392011-5

¥2,750〔税込〕



## きみは赤ちゃん(文春文庫 か 51-4)

川上 未映子 著

文藝春秋

35歳ではじめての出産。それは試練の連続だった!作家の鋭い観察眼で、「出産」という大事業の現実から、出産後の夫婦の問題までをセキララに描いた異色エッセイ。

朝日新聞 2025/11/08

2017:5./ 351p

978-4-16-790857-7

¥792〔税込〕



## 真犯人はこの列車のなかにいる(ハーパーBOOKS M・ス7・2)

ベンジャミン・スティーヴンソン 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

推理作家協会主催の50周年イベントに招待された駆け出しのミステリー作家アーネスト。豪華列車でいく3泊4日の旅には、錚々たる作家たちが。肩身の狭い思いだったが、そのうちの一人が旅の最中、殺害されてしまい...

朝日新聞 2025/11/08

2025:9./ 469p

978-4-302-10337-9

¥1,430〔税込〕



## 食権力の現代史～ナチス「飢餓計画」とその水脈～

藤原 辰史 著

人文書院

ソ連の住民3000万人の餓死を目標としたナチスの「飢餓計画」はどこへ向かったか。第一次大戦から第二次大戦を経て、イスラエルのガザの虐殺までの現代史を、食を通じた権力の歴史、「施設化」した飢餓の歴史として描く。

朝日新聞 2025/11/08

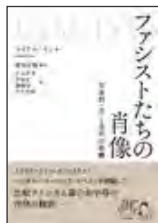
2025:9./ 322p

978-4-409-51108-4

¥2,970〔税込〕







## ファシストたちの肖像～社会的<力>と近代の危機～

マイケル・マン 著

白水社

イタリア・ドイツ・オーストリア・ハンガリー・ルーマニア・スペインを網羅した、比較ファシズム論の金字塔。戦間期のヨーロッパを中心に、古典的ファシズム体制の社会的起源と構造的条件を多角的に検討する。

朝日新聞 2025/11/08

2025:7./ 664p  
978-4-560-09168-5

¥6,380〔税込〕



## 「まちライブラリー」の研究～「個」が主役になれる社会的資本づくり～

磯井 純充 著

みすず書房

著者が提唱し、個々の人の参画・運営によって全国に千ヶ所以上形成されてきた「まちライブラリー」は、どのように広がってきたのか。運営者・利用者へのアンケート、関係者へのヒアリングから分析、考察する。

朝日新聞 2025/11/08

2024:2./ 252p  
978-4-622-09648-1

¥2,860〔税込〕



## 未来の図書館、はじめます

岡本 真 著

青弓社

地域のハブや知のアーカイブとして注目されている図書館。日本各地で図書館のプロデュースに関わる著者が、図書館をはじめめるための準備から、図書館整備の手法と進め方までを解説。「未来の図書館、はじめませんか?」の続篇。

朝日新聞 2025/11/08

2018:11./ 208p  
978-4-7872-0069-3

¥1,980〔税込〕



## ホームレス文化

小川てつオ 著

キョートット出版

ホームレスの存在こそが、もう一つの世界の始まるべき地点なのだ-。2003年から都内公園でテント生活を始めた著者が、隣人たちと織りなす生活を綴る。自身の生活を発信するブログをもとに書籍化。

朝日新聞 2025/11/08

2025:9./ 381p  
978-4-9902637-8-2

¥2,640〔税込〕



## インド映画はなぜ踊るのか

高倉 嘉男 著

作品社

インド映画はなぜこんなに長い? なぜ主役は圧倒的に強い? なぜ歌って踊るの? 新旧のインド映画約200本を取り上げ、作品の背景にある言語・文化・社会などを解説し、9つの「なぜ」に答える。

朝日新聞 2025/11/08、産経新聞 2025/11/09

2025:10./ 397p  
978-4-86793-109-7

¥2,970〔税込〕





## 占領下の女性たち～日本と満洲の性暴力・性売買・「親密な交際」～

平井 和子 著

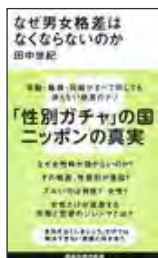
岩波書店

占領下におかれた日本本土と満洲では、国家や共同体により同時進行的に「性の防波堤」が形成され、多くの日本人女性が駆り出された。戦後史のなかに黙殺されてきた被害女性たちの生き様を貴重な資料と証言から詳らかにする。

朝日新聞 2025/11/15

2023:6./ 342p  
978-4-00-061601-0

¥3,300〔税込〕



## なぜ男女格差はなくなるのか(講談社現代新書 2793)

田中世紀 著

講談社

日本社会に根強く残る男女間の賃金格差。その背後にあったのは、「男性らしさ」「女性らしさ」が生む歪な構造だった。他者への無限の想像力から、性別をめぐる社会の「なぜ」に問いかける。

朝日新聞 2025/11/15

2025:10./ 205p  
978-4-06-541475-0

¥1,012〔税込〕



## ジートコヴァーの最後の女神たち(CREST BOOKS)

カテジナ・トゥチコヴァー 著

新潮社

チェコに生まれ民族学の研究をしていたドラ。自分を育てた伯母スルメナの名前が、共産主義時代の秘密警察の記録に載っていることを知る。ドラの生まれ故郷では、彼女は薬草や占いを使い、不思議な力を操る「女神」の一人で…。

朝日新聞 2025/11/15

2025:9./ 443p  
978-4-10-590203-2

¥3,080〔税込〕



## ペンギンにさよならをいう方法

ヘイゼル・プライア 著

東京創元社

85歳のヴェロニカ・マクリーディ。悩みの種は、遺産のゆずり先。ある日、資金不足のアデリーペンギン研究を知った彼女は、ペンギンたちが遺産相続人としてふさわしいかを見極めるため、南極へ一世一代の旅に出る！

朝日新聞 2025/11/15

2025:9./ 410p  
978-4-488-01152-9

¥3,080〔税込〕



## うんこになって考える～いのちを還す野糞と土葬の実践哲学～

伊沢 正名 著

農山漁村文化協会

うんこ目線で見ると現代がいかに自然に反しているかが鮮明になる。いのちを自然の循環に還すことこそが人新世の危機から救われる道だ。野糞と土葬を過激に大真面目に追求する。対談記事が見られるQRコード付き。

朝日新聞 2025/11/15

2025:8./ 191p  
978-4-540-25120-7

¥2,200〔税込〕





## アリ先生、おしゃべりなアリの世界をのぞく

村上貴弘 著

扶桑社

しゃべる・協力する・農業するアリの世界っておもしろすぎる! アリの音響コミュニケーション研究を続ける著者が、自身の研究や、人より複雑で賢いアリの生態などについて綴る。ハキリアリの音を聞ける QR コード付き。

朝日新聞 2025/11/15

2025.9./ 255p  
978-4-594-10143-5

¥1,650〔税込〕



## ヤバい保険の経済学〜<選択問題>で、なぜいつもコケてしまうのか?〜

リラン・エイナヴ、エイミー・フィンケルスタイン、レイ・フィスマン 著

みすず書房

なぜペット保険は高額なのか? なぜ離婚保険は存在しないのか? なぜ通常年1回しか医療保険を変更できないのか? 保険につきまとう「選択問題」から、経済学の原理に迫る。

朝日新聞 2025/11/15

2025.9./ 272p  
978-4-622-09785-3

¥3,520〔税込〕



## いのちの女たちへ〜とり乱しウーマン・リブ論〜 新版

田中 美津 著

現代書館

70年代のウーマンリブ運動のカリスマ的存在だった著者の、ほとばしる女性解放への情念に満ちた、今でも少しも古びない古典。“リブ”の精神を、自身の個人史を交えながら、先鋭化させたかたちで綴る。

朝日新聞 2025/11/15

2016.7./ 358p  
978-4-7684-7827-1

¥3,520〔税込〕



## 死ぬまで生きる日記

土門蘭 著

生きのびるブックス

「楽しい」や「嬉しい」という感情は味わえるのに、どうして「死にたい」と思うんだろう? カウンセラーとの対話を通して、ままたらない自己を見つめた記録。ウェブマガジン『生きのびるブックス』連載を書籍化。

朝日新聞 2025/11/15

2023.4./ 256p  
978-4-910790-09-1

¥2,090〔税込〕



## 民度〜分極化時代の日本の民主主義〜(中公新書 2876)

善教 将大 著

中央公論新社

人々の生活や文化程度、民主政治への成熟度を意味する民度。様々なデータや方法論から、党派性、投票行動、テレビ・新聞・SNSの影響までを取り上げて分析し、日本人の政治意識・行動を追い、民主主義の現在地を描き出す。

朝日新聞 2025/11/15、日本経済新聞 2025/11/29

2025.10./ 256p  
978-4-12-102876-1

¥1,265〔税込〕





**フェイクニュースを哲学する〜何を信じるべきか〜(岩波新書 新赤版 2033)**

山田 圭一 著

岩波書店

フェイクニュースとは何か。他人の言うことを信じてよいのか。どの専門家を信じればよいのか。マスメディアはネットよりも信じられるのか。情報の渦に溺れそうになる今、情報を吟味することについて哲学者と考える実践の書。

朝日新聞 2025/11/22

2024.9./ 206p  
978-4-00-432033-3

¥990〔税込〕



**生者のポエトリー(集英社文庫 い 98-1)**

岩井圭也 著

集英社

トラウマを抱え言葉をうまく発することができない青年・悠平が、急きょ舞台上で詩を披露することになり…。「テレパスくそくらえ」をはじめ、“詩”が人を繋ぐ全6編を収録した連作短編集。

朝日新聞 2025/11/22

2025.10./ 326p  
978-4-08-744826-9

¥836〔税込〕



**雨上がりのビーフシチュー(新潮文庫 こ-81-1)**

古矢永塔子 著

新潮社

男性限定料理教室への“潜入”を命じられた佐野楓雅。元刑事の頑固な爺さん、他人の気持ちがわからない建築家、気弱な中学生など、料理教室に通う生徒にはそれぞれ問題があった。そして女性講師にも過去が…。

朝日新聞 2025/11/22

2025.11./ 389p  
978-4-10-106441-3

¥825〔税込〕



**教科書名短篇〜科学随筆集〜(中公文庫 ち 8-10)**

中央公論新社 編

寺田 寅彦 著

中央公論新社

中学国語教科書から、科学への扉を開く名随筆を精選。寺田寅彦「科学者とあたま」、湯川秀樹「詩と科学」、岡潔「発見の鋭い喜び」、矢野健太郎「科学的なものの考え方」など、全24篇を収録する。

朝日新聞 2025/11/22

2021.9./ 242p  
978-4-12-207112-4

¥770〔税込〕



**結婚共犯者(光文社文庫 さ 44-1)**

櫻 いいよ 著

光文社

薫子は結婚式の二次会で知り合った匡臣と結婚した。匡臣が一番大切な人なのは薫子ではないし、薫子にとっての結婚は愛する人と結ばれることではなかったが、愛は確かに存在した…。結婚式を舞台に「幸せとは何か」を描く。

朝日新聞 2025/11/22

2025.11./ 306p  
978-4-334-10838-0

¥858〔税込〕





## 分断八〇年～韓国民主主義と南北統一の限界～

徐 台教 著

集英社クリエイティブ

なぜ、非常戒厳が繰り返されたのか。気鋭の在韓ジャーナリストが、南北分断 80 年の現代史をひもとき、新たな時代に突入しつつある韓国と朝鮮半島の未来を照らし出す。

朝日新聞 2025/11/22

2025:9./ 317p  
978-4-420-31082-6

¥2,420〔税込〕



## 忙しい人のための美術館の歩き方(ちくま新書 1865)

ちいさな美術館の学芸員 著

筑摩書房

忙しい人こそ、至福の余白時間を美術館で過ごすことが必要。美術館での過ごし方のキモとコツを、最新の美術館事情とともにガイド。「語れる」ための鑑賞の心得も、レクチャーする。note 掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

朝日新聞 2025/11/22

2025:7./ 222p  
978-4-480-07697-7

¥1,012〔税込〕



## 統一後のドイツ～なぜ東は異なり続けるのか～

シュテッフェン・マウ 著

白水社

統一から 35 年、東西ドイツの差は依然として様々な分野で残り続けている。社会構造、人口動態、民主主義等の問題を実証的に分析し、右翼ポピュリズム政党「AfD」台頭の深層を探り、民主主義再生への道を示す。

朝日新聞 2025/11/22

2025:10./ 230p  
978-4-560-09196-8

¥2,530〔税込〕



## 猫を処方いたします。(PHP 文芸文庫 い 12-1)

石田 祥 著

PHP 研究所

心の不調を抱えて病院を訪れた患者に、医者が処方するのは、薬ではなく、本物の猫。それにはある理由があって…。京都を舞台に人と猫の触れ合いを描く、書き下ろしもふもふハートフルストーリー。

朝日新聞 2025/11/22

2023:3./ 301p  
978-4-569-90288-3

¥924〔税込〕



## 北一輝・近衛文麿・石原莞爾と大東亜戦争～開戦に至る思想の系譜～

堀真清 著

みすず書房

北一輝、近衛文麿、石原莞爾が唱えた国家生存権の思想。それはいかにして開戦への道を敷いたのか。アジア主義をもゆがめたこの自国本位な思想の始原、発展、終焉を史資料からたどり直し、過ちの深度を問う。

朝日新聞 2025/11/22

2025:8./ 427p,8p  
978-4-622-09797-6

¥4,840〔税込〕







## 疑似科学と科学の哲学

伊勢田 哲治 著

名古屋大学出版会

占星術、超能力研究、東洋医学、創造科学。これらはなぜ「疑似科学」と言われるのか？ はたして疑似科学と科学の間に線は引けるのだろうか。科学のようで科学でない科学を考察することで、「科学とは何か」を解き明かす。

朝日新聞 2025/11/22

2003:1./ 282p  
978-4-8158-0453-4

¥3,080〔税込〕



## 現代ストリップ入門

武藤大祐／夏堀うさぎ 著

書肆侃侃房

第二次大戦直後に生まれ、つねに変容してきたストリップ。座談会、インタビュー、論考、ルポ、エッセイ、漫画などで、ストリップの現在に多様な視点からアプローチする。読書案内、踊り子のカラー口絵も収録。

朝日新聞 2025/11/22、日本経済新聞 2025/11/29

2025:10./ 311p  
978-4-86385-705-6

¥2,530〔税込〕



## 無理して頑張らなくても

チェ・ウニョン／植田たてり 著

早川書房

友達との心の距離に揺れる 10 代特有の感情、大人たちの理不尽や偏見に気づいてしまった幼い日の痛み…。現代韓国文学を牽引する作家が、誰もが知るほろ苦い感情を掘りあげた全 14 篇を収録する。

朝日新聞 2025/11/28、読売新聞 2025/11/30

2025:10./ 206p  
978-4-15-210476-2

¥2,860〔税込〕



## 言語学者、生成 AI を危ぶむ〜子どもにとって毒か薬か〜(朝日新書 1024)

川原繁人 著

朝日新聞出版

生成 AI と人間の言語システムには決定的な違いがある。それにもかかわらず、言語習得過程にある子どもたちに「おしゃべりする生成 AI」が手渡されようとしている。二児の父でもある言語学者が、危機感を込めて警鐘を鳴らす。

朝日新聞 2025/11/29

2025:10./ 263p  
978-4-02-295338-4

¥1,045〔税込〕



## 冬にやってきた春と夏と秋

ジョナサン・フリードランド、エミリー・サットン 著

徳間書店

冬の王さまは、誕生日にながく会っていないきょうだいをよぶことにしました。春の女王、夏の王、秋の女王です。みな冬に集まると、外はおかしなことに…。自然のリズムを尊重することを伝える絵本。

朝日新聞 2025/11/29

2025:10./ 32p  
978-4-19-866087-1

¥1,980〔税込〕





## いつものあさのあいうえお

うえだまこと 著

あかね書房

いつものあさ、いつものよる。いつものことであふれるまいにちは、こんなにもいとおい。子どもの見ている1日の情景を美しいイラストと柔らかな文章でつむぎ、なにげない日々のたいせつさを描いた絵本。

朝日新聞 2025/11/29

2025:10./ 64p  
978-4-251-09988-4

¥2,200〔税込〕



## 黄色い雨(河出文庫 リ 5-1)

フリオ・リヤマサーレス 著

河出書房新社

スペイン山奥の廃村で、降りつもる死の予兆を前に男は独り身をひそめる。あらゆるものの喪失が圧倒的な孤独と閉塞の詩情を描き出す表題作ほか、短篇「遮断機のない踏切」「不滅の小説」を収録。

朝日新聞 2025/11/29

2017:2./ 210p  
978-4-309-46435-0

¥968〔税込〕



## 人類帝国衰亡史～ホモ・サピエンス 30 万年、栄光と破滅の物語～

ヘンリー・ジー 著

ダイヤモンド社

地球規模の支配を築いた人類。だが、何千年も続いたホモ・サピエンスの栄光は、今や終わりが近づいている。なぜそうなったのか？ その理由と運命を避けるための希望についても語るサイエンス読み物。

朝日新聞 2025/11/29

2025:9./ 440p  
978-4-478-11941-9

¥2,420〔税込〕



## 死んだら無になる

西村 亨 著

筑摩書房

恋愛に絶望し、仕事にも倦み、家族はいよいよ疎ましく、ささやかなセルフケアも世間が容赦なく水を差してくる。すべての苦しみから逃れて「無」になることを求め赴いた怪しげな座禅道場で、柳田譲が見たものとは…。

朝日新聞 2025/11/29

2025:10./ 165p  
978-4-480-80527-0

¥1,980〔税込〕



## ドリーミング・ザ・ビートルズ～世界を魅了した不滅のバンドの物語～

ロブ・シェフィールド 著

白水社

ビートルズの4人が互いの存在を必要としたように、僕らもまたビートルズの存在を必要としているのだ。ローリング・ストーン誌の看板コラムニストが、5歳のころから魅せられてきたビートルズとその音楽について語る。

朝日新聞 2025/11/29

2025:9./ 380p  
978-4-560-09151-7

¥3,960〔税込〕





## 計算道具の歴史～石、そろばんから電卓まで～

キース・ヒューストン 著

原書房

最初是指や体の部位で数え、石や骨や木の棒を使った。やがてそろばんに似たアバカスが発明され、20世紀では機械式計算機、電卓、コンピュータへと発展する「計算をする道具」の歴史をたどる。

朝日新聞 2025/11/29

2025.9./ 340p  
978-4-562-07524-9

¥3,960〔税込〕



## もりあがれ!タイダーン～ヨシタケシンスケ対談集～(MOE BOOKS)

ヨシタケ シンスケ 著

白泉社

糸井重里、かこさとし、岸本佐知子、クリハラタカシ、坂崎千春…。絵本作家ヨシタケシンスケが人気作家 11 名と対談。対談後の感想などユニークなイラストも満載。『MOE』掲載記事などに描きおろしを加え、再編集。

朝日新聞 2025/11/29

2023.7./ 159p  
978-4-592-73314-0

¥1,650〔税込〕



## 誰にも相談できません～みんなのなやみ ぼくのこたえ～(毎日文庫 た 3-1)

高橋 源一郎 著

毎日新聞出版

「恋をしたことはありません」「就職決まらず、孤独で絶望」…。人生のままならぬ悩み、どうしたらいいの? 新聞の「人生相談」のコーナーに寄せられた 100 の悩みと、高橋源一郎の回答を収録する。

朝日新聞 2025/11/29

2023.1./ 239p  
978-4-620-21055-1

¥825〔税込〕



## 小さな神のいるところ

梨木香歩 著

毎日新聞出版

止まらぬ気候変動、消えゆく懐かしい景色…。自然をまっすぐに見つめ、日常を超えた領域を流れる<もうひとつの時間>に自然の一部である私たちの核心を追うエッセイ。『サンデー毎日』連載を単行本化。

朝日新聞 2025/11/29

2025.9./ 241p  
978-4-620-32846-1

¥1,980〔税込〕



## やさしいカタチ

大西 暢夫 著

彩流社

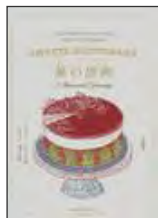
「わからない」というもどかしさが、ひとつのやさしいカタチになって、見えてきた。重度の障害を持った人たちの生の表情とともに、生活を支えるスタッフや不思議な乗り物を作る職人とのふれあいを描いた写真絵本。

朝日新聞 2025/11/29

2025.7./ 48p  
978-4-7791-3056-4

¥2,420〔税込〕





### 菓子の辞典〜A Historical Journey〜

長井史枝 著

雷鳥社

ラムセス 3 世が親しんだであろう BC 時代の「ウテン・ト」から、近現代のティラミスやパフェまで。約 130 種類の西洋菓子の起源と痕跡を探り、約 100 点のイラストとともに紹介する。お菓子 MAP も掲載。

朝日新聞 2025/11/29

2022:12./ 255p  
978-4-8441-3790-0

¥1,980〔税込〕



### 一花一虫〜板倉ケンタ句集〜

板倉ケンタ 著

ふらんす堂

スキースリフト夜はなにものとしれちがふ ネモフィラは急ごしらへの丘にある くちなはにけしかけたるは川の渡り 棗の実ばらばらに古びてゆくぞ 第 1 句集。

朝日新聞 2025/11/30

2025:10./ 153p  
978-4-7814-1759-2

¥2,750〔税込〕



### 旅行屋さん〜日本初の旅行会社・日本旅行と南新助〜

河治 和香 著

実業之日本社

日本における団体旅行の始まりは、汽車で行くお伊勢参りだった! 旅のお世話に生涯を賭けた、日本初の旅行会社「日本旅行」創業者・南新助の奮闘と激動の生涯を描く、旅行屋さん小説。

東京・中日新聞 2025/11/01

2025:10./ 277p  
978-4-408-53888-4

¥2,090〔税込〕



### AI時代の最善手(PHP新書 1444)

一力 遼 著

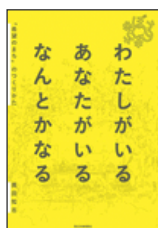
P H P 研究所

直感力で読み、大局観で構想し、決断力で打つ。勝負の世界で求められる「最善手」とは何か。世界一の囲碁棋士が自身の歩みを振り返りつつ、現代囲碁と AI の関係、そして勝負の本質について綴る。

東京・中日新聞 2025/11/01

2025:10./ 192p  
978-4-569-85999-6

¥1,100〔税込〕



### わたしがいるあなたがいるなんとかなる〜「希望のまち」のつくりかた〜

奥田知志 著

西日本新聞社

どんな人も一人にしない“なんちゃって家族”になれる場所、複合型社会福祉施設「希望のまち」。子ども・世帯支援、居住支援など多岐にわたる著者の活動や、「希望のまち」が生まれるまでの歩み、未来への提言を綴る。

東京・中日新聞 2025/11/01

2025:8./ 293p  
978-4-8167-1021-6

¥1,870〔税込〕





## 日本映画のために

蓮實 重彦 著

岩波書店

溝口健二、小津安二郎から北野武、黒沢清、濱口竜介まで、40年にわたる論稿を編集した日本映画論集成。単著未収録作を多数含む30篇に加え、書下ろしの「内田吐夢論」、三宅唱との対談、小田香・小森はるかとの鼎談を収録。

東京・中日新聞 2025/11/02

2025.9./ 448p

978-4-00-061715-4

¥4,070〔税込〕



## クリスマス・イヴの聖徳太子

瀬戸 夏子 著

河出書房新社

わたしの言葉を奪いにくるなら、わたしはおまえの命を奪う-。三島由紀夫、ディキンソン、BL、タワマン文学などを取り上げた稀代の歌人にして天性の批評家、瀬戸夏子による言葉のレジスタンス。「原型」など小説2編も収録。

東京・中日新聞 2025/11/02

2025.9./ 212p

978-4-309-03228-3

¥2,200〔税込〕



## 汝、暗君を愛せよ(DRE NOVELS ほ-1-1-1)

本条謙太郎 著

星雲社

自ら命を絶ったお飾り社長は、異世界の若き王の中へと転生する。しかし彼の王国は巨額の赤字財政と列強の干渉に悩まされ、国内には革命の気配すら漂い始めていた。無力な異世界人たる彼にできることはあまりに少なかったが....。

東京・中日新聞 2025/11/08

2025.8./ 381p

978-4-434-36211-8

¥1,540〔税込〕



## 言語化するための小説思考

小川 哲 著

講談社

「伝える」ではない、「伝わる」言葉や文章を生み出すために、小説家はいつも何を考えているのか。直木賞作家・小川哲が、自分の脳内にあるものを言語化する方法を解説する。『群像』連載を書籍化。小説「エデンの東」も収録。

東京・中日新聞 2025/11/09

2025.10./ 189p

978-4-06-541043-1

¥1,210〔税込〕



## サッチャー〜「鉄の女」の実像〜(中公新書 2879)

池本 大輔 著

中央公論新社

20世紀後半を代表する政治家、サッチャー。その政策は「英国病」を克服したと言われる一方、新自由主義の急先鋒と批判も招いた。彼女の激動の生涯を追い、経済から外交までの政策を俯瞰し、彼女の「遺産」を浮き彫りにする。

東京・中日新聞 2025/11/09

2025.10./ 336p

978-4-12-102879-2

¥1,375〔税込〕







## カフェーの帰り道

嶋津 輝 著

東京創元社

流行りに乗り切れない、長閑な「カフェ西行」で女給たちは朗らかに働いた。時代を映す鏡であった仕事「女給」を通し、大正から昭和を生きた市井の人生を描き出す。『紙魚の手帖』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

東京・中日新聞 2025/11/15

2025.11./ 227p  
978-4-488-02936-4

¥1,870〔税込〕



## 変な地図～あなたには、この古地図の「謎」が、解けますか?～

雨穴 著

双葉社

謎の死を遂げた祖母、海沿いの廃集落、不可解なトンネル事故…。やがて浮かび上がる「7体の妖怪」の秘密とは。“変な家”の栗原が青年時代に遭遇したマップ・ミステリー。朗読動画が視聴できるQRコード付き。

東京・中日新聞 2025/11/15

2025.10./ 411p  
978-4-575-24810-4

¥1,760〔税込〕



## 税の日本史(祥伝社新書 722)

諸富 敬 著

祥伝社

古代から現代まで、日本では税はどう扱われ、税制はどのように変化してきたのか。時の為政者・納税者は、税をどう捉えたのか。財政学の第一人者が、税の歴史を経済成長や産業構造の変化と共に読み解き、新税を提案する。

東京・中日新聞 2025/11/15、東京・中日新聞 2025/11/23

2025.11./ 284p  
978-4-396-11722-1

¥1,100〔税込〕



## 飼い犬に腹を噛まれる

彬子女王 著

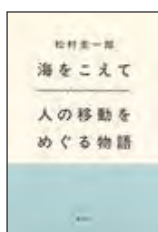
PHP研究所

私は自他共に認める事件体質である。ささいなことから、めまいがするような大事件まで、日常的にいろいろ起こる。彬子女王殿下のエッセイ集。ほしよりことのスペシャル対談も収録。『京都新聞』連載他を加筆・補整。

東京・中日新聞 2025/11/15、日本経済新聞 2025/11/22、読売新聞 2025/11/30

2025.9./ 237p  
978-4-569-85993-4

¥1,485〔税込〕



## 海をこえて～人の移動をめぐる物語～

松村 圭一郎 著

講談社

エチオピアの村から海外へ出稼ぎに行く女性たちの移動を中心に、国家に査定され、分類され、人生を左右されてきた「移動する人たち」の目に映っている世界のありさまを描く。『群像』連載を再構成し、加筆修正し単行本化。

東京・中日新聞 2025/11/16

2025.9./ 277p  
978-4-06-540737-0

¥1,980〔税込〕





**れるられる(岩波現代文庫 文芸 372)**

最相 葉月 著

岩波書店

どうやって生まれるのか。誰に支えられるのか。いつ狂うのか。なぜ絶つのか。本当に聞いているのか-。人生の受動と能動が転換する、その境目を、6つの動詞でつづった連作短篇集のエッセイ。新章を加えて文庫化。

東京・中日新聞 2025/11/22

2025:9./ 190p  
978-4-00-602372-0

¥1,023〔税込〕



**筒井康隆自伝**

筒井 康隆 著

文藝春秋

生まれて最初の記憶、戦時中の幼年期、映画とジャズ漬けになった少年期、演劇に夢だった青年期、作家デビュー、断筆宣言…。91歳、最後の文豪・筒井康隆が、自らの人生を濃密な文体でつづる。『文学界』掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2025/11/30

2025:10./ 183p  
978-4-16-392032-0

¥2,090〔税込〕



**羽柴秀長〜秀吉の天下を支えた弟〜(角川選書 679)**

柴 裕之 著

KADOKAWA

兄・秀吉の名補佐役として、豊臣政権を支え続けた羽柴(豊臣)秀長。最新研究と豊富な史料をもとに、一門衆としての立場や家族関係にも注目し、信長・秀吉時代のもう一人の立役者の知られざる実像を、多角的に描き出す。

読売新聞 2025/11/02

2025:9./ 238p  
978-4-04-703740-3

¥2,024〔税込〕



**冷蔵庫探偵蔵前怜子**

遠藤 彩見 著

講談社

若手刑事の涼が参加するホームパーティーで、主催者がアレルギー発作で倒れる事件が起きる。ケータリング業者・蔵前怜子は冷蔵庫を見て瞬時に謎を解いてしまう。涼はその洞察力に感銘を受けて弟子入りを志願し…。

読売新聞 2025/11/02

2025:9./ 270p  
978-4-06-540409-6

¥2,145〔税込〕



**ようこそ地球さん 改版(新潮文庫)**

星 新一 著

新潮社

読売新聞 2025/11/02

1992:10./ 372p  
978-4-10-109802-9

¥935〔税込〕





## 神さまショッピング

角田 光代 著

新潮社

夫にも内緒でスリランカへ向かった美津紀。善き願いも悪しき願いも叶えてくれる神さまに祈るのは、誰にも言えないあのことで…。「神さまに会いに行く」など、今の時代の神さまを描く 8 編を収録。『新潮』掲載を書籍化。

読売新聞 2025/11/02

2025:9./ 211p

978-4-10-434609-7

¥1,760〔税込〕



## 流れる星は生きている 改版(中公文庫 ふ 18-5)

藤原 てい 著

中央公論新社

昭和 20 年 8 月、ソ連参戦の夜、夫と引き裂かれた妻と愛児 3 人の壮絶なる脱出行が始まった。敗戦下の苦難に耐えて生き抜いた 1 人の女性の厳粛な記録。

読売新聞 2025/11/02

2002:7./ 322p

978-4-12-204063-2

¥880〔税込〕



## 20 代からの文章読解～人文学的思考を鍛える「読み方」10 講～

山野 弘樹 著

大和書房

読解力とは何か？なぜ読解力が必要なのか？いかに読解力を身につけられるのか？20 代、30 代に向けて、考えさせない時代に抗し、人文学的思考を深めるために必須の読解の技術を、気鋭の哲学者が徹底解説する。

読売新聞 2025/11/02

2025:8./ 207p

978-4-479-39458-7

¥1,760〔税込〕



## 九年目の魔法(創元推理文庫 F シ 4-2)

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ 著

東京創元社

この本、こんな題名だった？壁にかかっているのもこんな写真じゃなかったはず。この 9 年間にあったことと、今おぼえていることが違って…。「ハウルの動く城」の原作者が、少女の愛と成長と闘いを綴った現代魔法譚。

読売新聞 2025/11/02

2025:9./ 489p

978-4-488-57215-0

¥1,540〔税込〕



## 頂点都市(創元 SF 文庫 SF ラ 7-1)

ラヴァンヤ・ラクシュミナラヤン 著

東京創元社

荒廃した世界で、かつてのベンガルールの街は能力主義のテクノクラシー統治体制がしかれ、頂点都市と改名して繁栄を極める。生産性とソーシャルスコアで人間の価値が決まるこの街で、排除された下層民の間では叛逆の胎動が…。

読売新聞 2025/11/02

2025:6./ 478p

978-4-488-62411-8

¥1,650〔税込〕





## 中国奇想小説集～古今異界万華鏡～(平凡社ライブラリー 992)

井波 律子 編

平凡社

魑魅魍魎、夢幻泡影、奇々怪々…。「搜神記」「唐代伝奇」をはじめとする幽霊譚から変身物語、異界訪問からファム・ファタルまで、六朝より中国に脈々と受け継がれてきた超現実的な怪奇・幻想小説の代表作全 26 篇を収録する。

読売新聞 2025/11/02

2025:6./ 333p  
978-4-582-76992-0

¥1,980〔税込〕



## 作家と山

平凡社編集部 編

平凡社

山へ山へと念じて来たのも実はこの鳥の声が聞きたいからばかりであった-。若山牧水「山上湖へ」より」をはじめ、芥川龍之介「槍ヶ岳紀行」、岡本かの子「山のこども」など、作家が綴った山にまつわる 45 篇を収録。

読売新聞 2025/11/02

2025:8./ 296p  
978-4-582-83987-6

¥2,200〔税込〕



## 平安貴族の日記を読む事典～御堂関白記・小右記・権記～

倉本 一宏 著

吉川弘文館

藤原道長・実資・行成ら平安貴族が日々記録していた日記(古記録)から、政務・行事・信仰・生活などを知る 101 の言葉を解説。書き手の性格や心情を読み解き、政治情勢、皇族らの人間模様から貴族社会の実像に迫る。

読売新聞 2025/11/02

2025:7./ 254p  
978-4-642-08482-6

¥3,080〔税込〕



## 戸籍の日本史(インターナショナル新書 162)

遠藤 正敬 著

集英社インターナショナル

古代律令制時代に生まれた戸籍はなぜ、何のために明治に甦ったのか? 夫婦別姓問題、同性婚、種々の国際化の「見えざる障壁」になっている、日本独自の国民管理制度を暴く。

読売新聞 2025/11/02

2025:10./ 315p  
978-4-7976-8162-8

¥1,199〔税込〕



## 評伝田辺元～私の希求するところは現実の外にはない～

藤田 正勝 著

京都大学学術出版会

西田幾多郎とともに京都学派を牽引した哲学者・田辺元。自身の生涯についてはほとんど語らなかった彼の人物や生き方を明らかにすることで、厳密な思索とは対照的な人間性あふれる魅力を描く。

読売新聞 2025/11/02

2025:8./ 314p  
978-4-8140-0616-8

¥3,960〔税込〕





### ロバのクサツネと歩く日本

高田 晃太郎 著

河出書房新社

33 歳、人生で一番大きな買い物をした。雄ロバ 1 頭、50 万円。日本でロバと歩いて旅ができるなら、それはきっと、いい世界に違いない。相棒「クサツネ」と日本各地を巡った旅の記録。

読売新聞 2025/11/02、朝日新聞 2025/11/08

2025.7./ 210p 図版 12 枚

978-4-309-03975-6

¥1,892〔税込〕



### 本当のことを言おうか〜谷川俊太郎精選対話〜<1>

谷川 俊太郎 著

岩波書店

谷川俊太郎が、詩について、歌について、朗読について、絵本について、翻訳について、考えたこと。1 は、谷川徹三、山本太郎、有馬頼、外山滋比古、鮎川信夫、矢川澄子、大岡信との対話のほか、語り、エッセイを収録する。

読売新聞 2025/11/09

2025.10./ 262p

978-4-00-061720-8

¥2,640〔税込〕



### 骨董〜さまざまの蜘蛛の巣のかかった日本の奇事珍談〜 改版(岩波文庫 赤 244-3)

小泉 八雲、ラフカディオ・ハーン 著

岩波書店

「怪談」と並ぶラフカディオ・ハーンの名作。日本各地に伝わる伝説や怪談を再話した 9 篇からなる「古い物語」と、ハーンの死生観・哲学的思想が顕れる 11 篇の随筆による小品集。解説付き。

読売新聞 2025/11/09

2025.8./ 237p

978-4-00-322449-6

¥792〔税込〕



### 藤原摂関家の誕生〜皇位継承と貴族社会〜(岩波新書 新赤版 2081)

瀧浪 貞子 著

岩波書店

ポスト桓武の時代、血なまぐさい事件の渦中、幸運を引きつけた藤原北家は、類い稀な才覚と政治的嗅覚を持つ者たちが、天皇家との関係を深めてゆき…。藤原摂関家が生まれた経緯を解明する。

読売新聞 2025/11/09

2025.9./ 222p

978-4-00-432081-4

¥1,012〔税込〕



### どうで死ぬ身の一踊り(角川文庫 に 18-6)

西村 賢太 著

KADOKAWA

悲運の最期に散った大正期の私小説家・藤澤清造。その作品と人物像に魅かれ、すがりつく男の現世における魂の彷徨は、惨めながらも強靱な捨て身の意志を伴うものであった…。表題作ほか「墓前生活」「一夜」の全 3 篇を収録。

読売新聞 2025/11/09

2019.3./ 249p

978-4-04-107647-7

¥880〔税込〕







## 在る。～SOGI 支援医のカルテ～

前川 ほまれ 著

KADOKAWA

看護師・倉木透子が勤める病院には、性の在り方にまつわる不調をケアする「SOGI 支援外来」がある。病棟医長の海野から、X ジェンダーの入院患者を紹介され…。医療連作集。『小説野性時代』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

2025.9./ 257p  
978-4-04-114148-9

¥2,035〔税込〕



読売新聞 2025/11/09



## <国防>の日本近現代史～幕末から「台湾有事」まで～(講談社現代新書 2785)

一ノ瀬 俊也 著

講談社

不平士族の反乱、太平洋戦争、60 年安保…。幕末・維新时期から現在まで約 150 年にわたる近現代日本の<国防>が、「何に対し、何を、どうやって」守ってきたのかを、近年の研究を参照しつつ俯瞰的に振り返る。

2025.8./ 407p  
978-4-06-540787-5

¥1,540〔税込〕



読売新聞 2025/11/09



## 世界は団地でできている～映画のなかの集合住宅 70 年史～(集英社新書 1275)

団地団、稲田 豊史、大山 顕、佐藤 大、妹尾 朝子、速水 健朗、山内 マリコ 著  
集英社

戦後の住宅インフラを支えてきた団地が登場する「団地作品」について語るイベントを開催してきた集団＝「団地団」が、団地作品の歴史を通覧。社会、風俗等のさまざまな観点から戦後社会の変遷とフィクションの役割を考察する。

2025.8./ 237p  
978-4-08-721375-1

¥1,089〔税込〕



読売新聞 2025/11/09



## エンド・オブ・ライフ(集英社文庫 さ 58-2)

佐々 涼子 著

集英社

多くの患者を看取ってきた看護師の友人が癌になった。「看取りのプロ」の死への向き合い方は、意外なもので…。最期の日々を共に過ごすことで見えて来た「命の閉じ方」とは。在宅での終末医療の現場を描くノンフィクション。

2024.4./ 321p  
978-4-08-744633-3

¥858〔税込〕



読売新聞 2025/11/09



## さよなら、天才～大谷翔平世代の今～

中村 計 著

文藝春秋

かつて大谷翔平よりも“天才”と呼ばれた同世代がいた。彼らは 30 歳になってどうなったのか？ 大谷にも引けをとらない才能を秘めていたかもしれない選手(元選手)たちを訪ね歩く。『NumberWeb』連載に加筆修正。

2025.10./ 267p  
978-4-16-392029-0

¥1,980〔税込〕



読売新聞 2025/11/09



## 進学校の進路選択とジェンダー～高校生たちの描く未来～

打越 文弥、本田 由紀 編

大月書店

進学校の高校生らに実施したインタビュー調査のデータを用いて、進学校に在籍している高校生男女の進路がなぜ、どのように異なるのかを明らかにし、均質的かつ男性的な進路観に対して、ジェンダー視点から異なる解釈を与える。

読売新聞 2025/11/09

2025.9./ 200p  
978-4-272-35065-0

¥2,530〔税込〕



## AI バブルの不都合な真実

クロサカ タツヤ 著

日経 B P 社

AI バブル崩壊後のニッポンの生存戦略とは-。過熱する AI ブームの実態と限界を冷静に分析し、企業が AI を適切に導入・活用し、生き残るための戦略を提示する。

読売新聞 2025/11/09

2025.9./ 351p  
978-4-296-20937-8

¥2,530〔税込〕



## 決断するとき～将棋に生きる～(ちくま文庫 お-6-1)

大内 延介 著

筑摩書房

いまや、棋界の高峰九段となった若者が、決断のゲーム・将棋のおもしろさと、人生の「決断するとき」の大切さを説いた、ユニークな読物。

読売新聞 2025/11/09

1987.6./ 256p  
978-4-480-02129-8

¥416〔税込〕



## 視線と差異～フェミニズムで読む美術史～(ちくま学芸文庫 ホ 27-1)

グリゼルダ・ポロック 著

筑摩書房

なぜ美術史から女が存在が抹消されてきたのか。西洋近代芸術の歴史が記述・記録される過程において、強かに働いてきたさまざまな偏りを明らかにし、その学としてのあり方自体に内在する権力構造と性差別を指摘する。

読売新聞 2025/11/09

2025.10./ 510p  
978-4-480-51231-4

¥1,870〔税込〕



## 締切と闘え!(ちくまプリマー新書 504)

島本 和彦 著

筑摩書房

苦しい時こそニヤリと笑え! 締切を守って 40 年。熱血漫画家がスケジュール管理、ピンチを乗り越える方法、そして生き方を語る。付録「カウントダウン book 傑作選」も収録。

読売新聞 2025/11/09

2025.10./ 170p  
978-4-480-68538-4

¥990〔税込〕





## 氷上旅日記～ミュンヘン-パリを歩いて～ 新装版

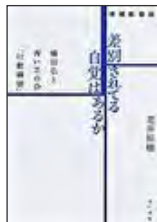
ヴェルナー・ヘルツォーク 著

白水社

ぼくが自分の足で歩いていけば、あのひとは助かるんだ。重病の親友の快復を願かけて、氷と雪に閉ざされたミュンヘン-パリ間を彷徨する魂の軌跡。ニュー・ジャーマン・シネマの鬼才ヘルツォーク監督による幻の手記を復刊。

読売新聞 2025/11/09

2022:7./ 154p



## 差別されてる自覚はあるか～横田弘と青い芝の会「行動綱領」～ 増補新装版

荒井裕樹 著

現代書館

障害者運動を牽引し、健全者社会を批判した日本脳性マヒ者協会青い芝の会の「行動綱領」を起草、理論的支柱であった故・横田弘の思想と今日的な意義を探究。新たな論考を加える。テキストデータ請求券付き。

読売新聞 2025/11/09

2025:8./ 310p

978-4-7684-3612-7

¥2,640〔税込〕



## 君の手が語ること

デビット・ゾペティ 著

田畑書店

還暦を迎えた「僕」は、40年近く日本で暮らし、大学で国文学を教えるベルギー人。手話講座でER看護師の梓と出会い、聴者ながら手話だけでコミュニケーションを取ることに。やがてふたりは恋に落ちるが...

読売新聞 2025/11/09

2025:10./ 218p

978-4-8038-0477-5

¥2,200〔税込〕



## 植物に学ぶギフトエコノミー～互恵で豊かになる暮らし～

ロビン・ウォール・キマラー 著

築地書館

今だけ、金持ちのためだけの資本主義市場経済を続けて、この先も地球で生きていくことができるのだろうか。今や誰もが感じ始めている不安と怒りに、先住民の知恵と生物学、植物のあり方から学ぶ新しい経済システムを提案する。

読売新聞 2025/11/09

2025:8./ 118p

978-4-8067-1691-4

¥1,650〔税込〕



## 催眠術の日本近代(法蔵館文庫 い 5-1)

一柳 廣孝 著

法蔵館

娯楽から治療、アカデミズム、そして犯罪や国民統制にまで滲透していった催眠術はいかに語られ、使われ、消費されていったのか。知と欲望が渦巻く「催眠術ブーム」の盛衰をたどり、日本近代史の横顔を描き出す。

読売新聞 2025/11/09

2025:9./ 269p

978-4-8318-2707-4

¥1,210〔税込〕





### 牛腸茂雄全集<作品編>

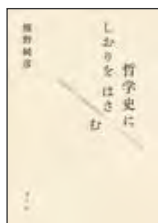
牛腸 茂雄、三浦 和人 著  
赤々舎

「日々」「SELF AND OTHERS」「扉をあけると」「見慣れた街の中で」所収の全点と、2つの連作<水の記憶><幼年の「時間」>全点を収録した作品集。富山由紀子の論考、年譜なども掲載。

読売新聞 2025/11/09

2022:11./ 245p  
978-4-86541-157-7

¥8,800〔税込〕



### 哲学史にしおりをはさむ

熊野 純彦 著  
青土社

哲学の芽となる日常の経験、忘れられつつある哲学史のひとつコマ、師や畏友との出逢い…。読むこと書くことに生きてきた稀代の哲学史家が、研究のなかから紡ぎだし、折々の縁にむすんできたテキストをまとめる。

読売新聞 2025/11/09、朝日新聞 2025/11/29

2025:9./ 352p  
978-4-7917-7735-8

¥2,860〔税込〕



### 意識と本質～精神的東洋を求めて～(ワイド版岩波文庫 200)

井筒 俊彦 著  
岩波書店

東洋哲学の分析から得た根元的思想パターンを主体化し、その基盤の上に新しい哲学を生み出さなければならない。このような問題意識を独自の「共時的構造化」の方法によって展開した、哲学的営為。91年刊のワイド版。

読売新聞 2025/11/16

2001:10./ 418p



### 風土～人間学的考察～(岩波文庫 青 144-2)

和辻 哲郎 著  
岩波書店

風土とは単なる自然環境ではなくして、人間の精神構造の中に刻みこまれた自己了解の仕方に他ならない。こうした観点から著者はモンスーン・沙漠・牧場という風土の三類型を設定し、日本をはじめ世界各地の民族・文化・社会の特質を見事に浮彫りにした。

読売新聞 2025/11/16

2010:4./ 299p  
978-4-00-331442-5

¥1,210〔税込〕



### 家父長制と資本制～マルクス主義フェミニズムの地平～(岩波現代文庫 学術 216)

上野 千鶴子 著  
岩波書店

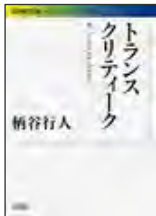
女性への抑圧はいったい何に由来するのか。マルクス主義フェミニズムの立場を打ち出し、研究の新たな地平を拓いた記念碑的著作。

読売新聞 2025/11/16

2009:5./ 474p  
978-4-00-600216-9

¥1,782〔税込〕





**トランスクリティーク〜カントとマルクス〜(岩波現代文庫 学術 233)**

柄谷 行人 著

岩波書店

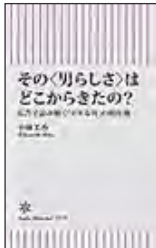
社会主義の倫理的根源を明らかにし、来るべき社会への実践を構想する本書は、絶えざる「移動」による視差の獲得とそこからなされる批評作業の見事な実践であり、各界に大きな衝撃を与えた。

2010:1./ 518p  
978-4-00-600233-6

¥2,002〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



**その<男らしさ>はどこからきたの?〜広告で読み解く「デキる男」の現在地〜(朝日新書 1016)**

小林美香 著

朝日新聞出版

缶コーヒー、スーツ、メンズ美容…。男らしさのイメージはどこからやってきて、男性のみならず見る者の価値観に影響を与えてきたのか。CM・ポスターに刷り込まれた理想の男性の虚像を暴く。これからの男性性も取り上げる。

2025:8./ 279p  
978-4-02-295332-2

¥990〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



**火の鳥 全14巻セット(角川文庫)**

手塚 治虫 著

KADOKAWA

巻末には手塚治虫の生前のインタビューとともに、貴重な資料を完全収録! 各巻の描き下ろしトリビュート・コミックも必見です。

2019:1./ 4560p  
978-4-04-107923-2

¥13,552〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



**古代中国の性生活〜先史から明代まで〜(講談社学術文庫 2892)**

R・H・ファン・フリーック 著

講談社

性愛とは「道(タオ)」であり、男性および女性の原理の均衡こそ生命力の源である。儒教・道教・仏教がせめぎ合うなかで出来たためくるめくエピソードを渉猟しつつ、性の秘法に込められた中国文化の根本原理を抉り出す。

2025:9./ 635p  
978-4-06-540922-0

¥2,860〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



**限界を外す〜レジェンドが教える「負けない心と体」の作り方〜(集英社新書 1279)**

葛西 紀明 著

集英社

なぜ50代で進化し続けられるのか? スキージャンパー葛西紀明が、自らの限界を外してきた軌跡、年齢を重ねても成果を出し、挑戦し続けるための思考法、セルフマネジメントの極意を語る。

2025:9./ 221p  
978-4-08-721379-9

¥1,067〔税込〕



読売新聞 2025/11/16





## 本と校正 増補新版(中公文庫 は 82-1)

長谷川鑛平 著

中央公論新社

岩波書店と中央公論社で校正者として赤ペンを握ること三十有余年。伝説の校閲部部長が、誤植列伝から普遍的な校正の心構えまで、ユーモアたっぷりに綴る。新たなコラム 3 篇と、新・校正練習問題を掲載した増補新版。

2025:9./ 291p

978-4-12-207700-3

¥1,100〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



## 仮面の解釈学

坂部 恵 著

東京大学出版会

語源説、精神分析、現象学の手法を駆使して、仮面と鬼面のたわむれの方へ新たな言語思想をめざした坂部恵。生と死、覚醒とまどろみ、現実と夢のあわいを問うた名著に、解題を付した新装版。

2009:10./ 242p

978-4-13-013091-2

¥3,520〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



## 日本政治思想史研究

丸山 真男 著

東京大学出版会

日本近世社会における正統的な儒教的世界観の内的崩壊過程を問題史的に解明し、〈自然〉〈作為〉の対抗の中に日本思想の近代化の型を探究。戦後の日本思想史研究の道を切り開いた古典的名著。

1983:6./ 424p

978-4-13-030005-6

¥3,960〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



## 日本語と論理～哲学者、その謎に挑む～(NHK 出版新書 600)

飯田 隆 著

N H K 出版

単数と複数の区別がなくても支障がないのはなぜ? 「多くのこども」と「こどもの多く」は何が違う? 「の」の意味とは? 「こそあど」の論理的共通点とは? 言語哲学の大家が、日本語の「謎」を徹底分析する。

2019:9./ 296p

978-4-14-088600-7

¥1,045〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



## エブリシング・ヒストリーと地政学～マネーが生み出す文明の「破壊と創造」～

エミン・ユルマズ 著

文藝春秋

資源戦争、貿易戦争、基軸通貨戦争、技術戦争という 4 つの視点を導入し、経済と地政学の知見から、マネーが歴史にもたらした破壊的なインパクトと創造的な力を浮き彫りにする。

2025:10./ 285p

978-4-16-392034-4

¥1,870〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



### ロゴスとイデア(文春学芸ライブラリー 思 8)

田中 美知太郎 著

文藝春秋

ギリシャ哲学の徹底的な読解によって日本における西洋哲学研究の基礎を築いた著者が、「現実」「未来」「過去」「時間」「ロゴス」「イデア」といった根本概念の発生と変遷をたどった代表作。

2014:6./ 392p  
978-4-16-813019-9

¥1,837〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



### 小泉八雲 「見えない日本」を見た人(光文社新書 1379)

畑中章宏 著

光文社

日本で民俗学が始まる以前に、民俗学的視線で日本人の暮らし・心を見ることができた小泉八雲。数々の著作を手がかりに、約 130 年前の日本の民俗を見つめ直し、八雲の観察眼、考察力、その思想を掘り下げる。

2025:9./ 235p  
978-4-334-10755-0

¥990〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



### まちかど送水口図鑑

村上 善一 著

創元社

送水口博物館の館長が、全国 47 都道府県の珠玉の送水口約 100 種を、500 点以上の写真を用いて紹介。日本の消防設備の発展や、送水口の普及の歴史などの知識編、送水口ファンによる座談会も収録。

2025:9./ 159p  
978-4-422-24115-9

¥2,200〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



### 物と心(ちくま学芸文庫 オ 7-3)

大森 荘蔵 著

筑摩書房

存在と意識、物と表象、物と心、身体と心、認識論的主観と客観、これらはとる形はさまざまでも実は一つのものにほかならない。現象の背後に実在を想定する二元論を否定し、「立ち現われ一元論」を打ち立てた、大森哲学の神髄。

2015:1./ 472p  
978-4-480-09643-2

¥1,650〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



### 斜め論～空間の病理学～

松本 卓也 著

筑摩書房

ピンスワンガー、中井久夫、上野千鶴子、信田さよ子、当事者研究、ガタリ、ウリ、ラカン、ハイデガーらの議論をもとに、精神病理学とそれにかかわる人間観の変遷を跡付け、「斜め」の理論をひらいていこうとする試み。

2025:8./ 316p  
978-4-480-84333-3

¥2,420〔税込〕



読売新聞 2025/11/16



## 多彩な鉱山開発の軌跡 佐渡金銀山(シリーズ「遺跡を学ぶ」 175)

小田由美子、宇佐美亮 著

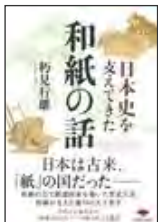
新泉社

金山として著名な佐渡島は銀も豊富に産出し、経済・貿易に多大な影響力をもった。古くから砂金を採取した西三川砂金山、徳川幕府の支配下で大鉱山都市が出現した相川金銀山などの発掘調査から、佐渡金銀山の実態に迫る。

読売新聞 2025/11/16

2025.11./ 93p  
978-4-7877-2535-6

¥1,870〔税込〕



## 日本史を支えてきた和紙の話(草思社文庫 く 2-1)

朽見 行雄 著

草思社

和紙は単なるモノではなく、日本人の心情に訴える精神性をも備え、国家経営から芸術、日常生活への寄与まで、驚くほど広範囲に能力を発揮した。黒子として歴史を生きてきた和紙に光を当て、日本史を読み直す。

読売新聞 2025/11/16

2025.8./ 286p  
978-4-7942-2794-2

¥1,100〔税込〕



## 荻生徂徠の世界

澤井 啓一 著

ペリカン社

近世思想史上最高の儒学者として、近代政治思想の先駆と評価されてきた荻生徂徠。評伝、古文辞学、四書注釈作業、学問の継承等の観点から捉えなおし、徂徠のテキストを精緻に読み解き、徂徠の構想=道を明らかにする。

読売新聞 2025/11/16

2025.9./ 350p  
978-4-8315-1704-3

¥4,950〔税込〕



## 自分を嫌うな～もっと自信をもって生きたい人に贈る「心の処方箋」～

加藤 諦三 著

三笠書房

「こういう自分であるべき」という思いこみの自分に苦しんでいませんか。ちょっと角度を変えてみれば、今の自分がずっと好きになる! 心の歪みをもたらす抑圧について述べ、自分に対する見方を変える方法を紹介します。

読売新聞 2025/11/16

2013.6./ 253p  
978-4-8379-2501-9

¥1,430〔税込〕



## 鉄道書の本棚

V 林田 著

本の雑誌社

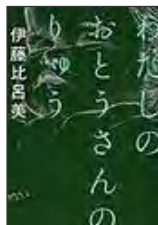
初心者も楽しめるマニアもうなる、鉄道ブックガイド。宮脇俊三「夢の山岳鉄道」、畑中英二「信楽汽車土瓶」など、定番からほぼ知られていない本まで 51 冊を紹介する。『本の雑誌』連載に書き下ろし 11 編を追加。

読売新聞 2025/11/16

2025.9./ 255p  
978-4-86011-607-1

¥1,980〔税込〕





### わたしのおとうさんのりゅう

伊藤比呂美 著

左右社

高度成長期に入りかけた頃の東京。板橋区の裏町の裏通りをさらに入ったところで、「私」は夢中で本を読んでいた。「エルマーのぼうけん」から始まる、児童文学、ことば、そして著者自身の記憶をたどる道行き。

読売新聞 2025/11/16

2025:10./ 279p  
978-4-86528-491-1

¥2,200〔税込〕



### 海路残照(ARMARIA 1)

森崎 和江 著

インスクリプト

不老長寿の海女の残像を追って、玄界灘に面した福岡・鐘崎から、福井・小浜、能登・輪島、津軽・十三湖、北海道・松前へ。無数の無名の女たちの、消え残る痕跡を求め、残照の日本海を北上するノンフィクション。

読売新聞 2025/11/16

2025:11./ 233p  
978-4-86784-010-8

¥2,420〔税込〕



### オマルの日記〜ガザの戦火の下で〜

最所篤子 編

オマル・ハマド 著

海と月社

ありのままのガザとは。イスラエル侵攻下のガザ地区で、避難生活を送るパレスチナ人青年・オマル。彼が英語での X への投稿を始めた 2024 年 4 月から、停戦が成立した 2025 年 1 月までのポストの日本語訳を収録する。

読売新聞 2025/11/16

2025:10./ 204p  
978-4-903212-89-0

¥1,980〔税込〕



### 三頭の蝶の道

山田 詠美 著

河出書房新社

「男とか女とかじゃないのよ、文学に魅入られているか、いないか、なのよ」女性作家が「女流」と呼ばれた時代、文学に身を捧げた女たちの創作の業を描く。

Amazon オーディオブック配信を書籍化。

読売新聞 2025/11/16、産経新聞 2025/11/30

2025:10./ 233p  
978-4-309-03962-6

¥1,980〔税込〕



### 自選 谷川俊太郎詩集(岩波文庫 緑 192-1)

谷川 俊太郎 著

岩波書店

デビュー以来、半世紀を超えて人々に愛されつづけてきた谷川俊太郎の全詩から、著者自身が 173 篇を精選。わらべうたから実験的な長編詩まで、のびやかで、リズム感あふれる言葉がこころよい詩集。

読売新聞 2025/11/23

2013:1./ 437p  
978-4-00-311921-1

¥990〔税込〕





### 茨木のり子詩集(岩波文庫 緑 195-1)

茨木 のり子、谷川 俊太郎 著

岩波書店

スパッと歯切れのいい言葉が断言的に出てくる、主張のある詩、論理の詩。素直な表現で、人を励まし奮い立たせてくれる、「現代詩の長女」茨木のり子のエッセンス。大岡信との対談も収録。

読売新聞 2025/11/23

2014:3./ 398p

978-4-00-311951-8

¥880〔税込〕



### 詩のころを読む 改版(岩波ジュニア新書 9)

茨木 のり子 著

岩波書店

いい詩とは、ひとの心を解き放つ力をそなえているばかりか、生きとし生けるものへのいとおしみの感情をも誘いだしてくれます。詩人である著者が、その心を豊かにしてきた詩の宝箱の中から忘れがたい詩の数々を選びだし、情熱をこめて語ります。

読売新聞 2025/11/23

2009:11./ 242p

978-4-00-500009-8

¥1,089〔税込〕



### 短歌ください<双子でも片方は泣く夜もある篇>(角川文庫 ほ 21-6)

穂村 弘 著

KADOKAWA

転校生、友情、夏休み、ラブホテル、ラーメン、珈琲…。『ダ・ヴィンチ』の読者投稿コーナーに寄せられた短歌から、人気歌人・穂村弘がテーマごとに傑作を選出。それぞれの短歌に鮮やかな講評を付す。

読売新聞 2025/11/23

2025:10./ 261p

978-4-04-115927-9

¥1,056〔税込〕



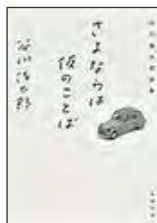
### 素直な戦士たち(新潮文庫)

城山 三郎 著

新潮社

読売新聞 2025/11/23

1982:3./ 311p



### さよならは仮のことば〜谷川俊太郎詩集〜(新潮文庫 た-60-11)

谷川 俊太郎 著

新潮社

「二十億光年の孤独」から「ページュ」までの主な詩集から、編集部が独自に編んだ詩選集。国語教科書の定番「朝のリレー」「春に」、東日本大震災で話題となった「生きる」など、豊穡かつ多彩な作品が満載。

読売新聞 2025/11/23

2021:7./ 260p

978-4-10-126625-1

¥649〔税込〕







## 絵の音

大竹 伸朗 著

新潮社

地上のありとあらゆるものを画材に、圧倒的な質・量の作品を生み出し続ける国際的画家・大竹伸朗。その無尽蔵のモチベーションの秘密とは何か？ 7年間の思索と旅をまとめる。『新潮』連載を書籍化。

読売新聞 2025/11/23

2025.8./ 409p  
978-4-10-431005-0

¥3,575〔税込〕



## 黄金と水飴のアパルトマン

瀬那和章 著

中央公論新社

夢を失ったピアニストの梨音は<アパルトマン黒猫>の管理人になることに。芸術と真剣に向き合う住人たちとの交流が、彼女の心を変えていき…。たったひとつの才能を信じるアーティストたちの青春ストーリー。

読売新聞 2025/11/23

2025.10./ 250p  
978-4-12-005961-2

¥2,420〔税込〕



## 人間には12の感覚がある〜動物たちに学ぶセンス・オブ・ワンダー〜

ジャッキー・ヒギンズ 著

文藝春秋

同じ地球上で共に暮らし、「感覚を持つ存在」である人間を含む動物たち。個々の感覚がどのように違い、それが世界観、世界の理解の仕方にどう影響しているのか、またそれが人間にとって何を意味するのかを考察する。

読売新聞 2025/11/23

2025.7./ 432p  
978-4-16-391998-0

¥2,860〔税込〕



## 孤独〜精選日本随筆選集〜(ちくま文庫 み40-2)

宮崎智之 著

筑摩書房

随筆とは何か？ 何から読んだらいいのか？ 「随筆復興」を掲げる宮崎智之が、白洲正子から坂口安吾、遠藤周作、杉浦日向子まで、孤独をテーマに日本の名随筆を集めたアンソロジー。

読売新聞 2025/11/23

2025.11./ 325p  
978-4-480-44074-7

¥1,100〔税込〕



## 近代小説の表現機構(ちくま学芸文庫 ア52-1)

安藤 宏 著

筑摩書房

小説が小説としてリアリティを獲得するためのよそおいを、表現機構としてあらためて問い直すとともに、各小説の表現を詳細に読み解きながら、日本の近代小説の特質とその変遷を描き出す。

読売新聞 2025/11/23

2025.11./ 560p  
978-4-480-51328-1

¥1,760〔税込〕





## アニメ心理学超入門～「生命」のないものに「生命」を感じるしくみ～

小松 英海 著

ナカニシヤ出版

平面上の動く絵を、生きているように感じるのはなぜか？絵に命や意思が吹き込まれるしくみについて、具体的な作品例を挙げながら、アニメーション表現と知覚心理学の両面から考察する。動画が見られる QR コード付き。

読売新聞 2025/11/23

2025:9./ 124p  
978-4-7795-1896-6

¥2,420〔税込〕



## 地図と読む日本の街道

金田 章裕／今尾 恵介 著

帝国書院

日本人が古来より歩いてきた道、街道。近世以来の街道のみならず、街道と呼ばれていなかった、それ以前からの道をも取り上げ、多彩な地図や写真とともに紹介する。日本の道の実像とその魅力をたどる一冊。

読売新聞 2025/11/23

2025:10./ 173p  
978-4-8071-6786-9

¥1,980〔税込〕



## 二つの和解～苦悩の島・沖縄～

稲嶺 恵一／飯塚 恵子 著

ウェッジ

戦後 80 年の沖縄。アメリカ、本土との和解の行方は-。元沖縄県知事・稲嶺恵一による『読売新聞』連載の回顧録「時代の証言者」を収録。また長年沖縄問題を追う記者が本土の人間の視点で沖縄の苦悩とわだかまりを論じる。

読売新聞 2025/11/23

2025:8./ 366p  
978-4-86310-298-9

¥2,970〔税込〕



## 明日も、森のどこかで

上田 大作 著

閑人堂

森のどこかで、厳しくも美しい野性の日常と、命をつなぐ特別な瞬間が日々繰り返されている-。北海道の自然を 20 年にわたって記録してきた写真家による、野生動物の息づかいを感じるエッセイ。本体は背表紙なし。

読売新聞 2025/11/23

2025:9./ 191p  
978-4-910149-06-6

¥2,970〔税込〕



## 感情労働の未来～脳はなぜ他者の“見えない心”を推しはかるのか？～

恩蔵 絢子 著

河出書房新社

AI 時代、人間の最大の能力は「感情」になる！自分の感情を抑圧し“他者にあわせる”ストレスフルな労働の時代から、集団的知性を目指して“他者を理解する”新しい未来へ。脳科学から感情労働を見直す。

読売新聞 2025/11/23、朝日新聞 2025/11/29

2025:10./ 240p  
978-4-309-25495-1

¥2,090〔税込〕





## 生活史の方法～人生を聞いて書く～(ちくま新書 1884)

岸政彦 著  
筑摩書房

「ひとりの人間の、人生の語り」である生活史。沖縄で25年にわたり聞き取り調査をしてきた著者による、生活史の美しさ・おもしろさから、そのむずかしさ・暴力性まで、冊子にまとめて作品とするための手引き。

2025.11./ 302p  
978-4-480-07713-4

¥1,155〔税込〕



読売新聞 2025/11/23、朝日新聞 2025/11/29



## オノマトペの現象学(角川ソフィア文庫 L109-6)

鷺田 清一 著  
KADOKAWA

「ぐずぐず」「ふわふわ」など、さまざまな言葉の手ざわりがある擬態語(オノマトペ)。なぜ、それらの擬態語ができたのか。オノマトペの特性と表現を現象学的に分析し、現代人のいのちの息遣いや存在感覚を描きだす。

2025.10./ 288p  
978-4-04-400874-1

¥1,386〔税込〕



読売新聞 2025/11/30



## 日本のバス問題～高度成長期の隆盛から経営破綻、再生の時代へ～(中公新書 2874)

佐藤 信之 著  
中央公論新社

危機に瀕する公共交通の最後の砦・バス。戦前日本におけるバスの誕生から、戦後のモータリゼーションによる乗客減とサービス向上のための様々な施策までを解説。揺れ動くバス事業の課題と将来を展望する。

2025.9./ 328p  
978-4-12-102874-7

¥1,375〔税込〕



読売新聞 2025/11/30



## 女たちよ、大志を抱け～戦時下、外地で就職する～(中公選書 160)

飯田未希 著  
中央公論新社

戦前から戦中、中国大陆からや南方の求人に応じ、単身海を渡った若い女性たち。なぜ彼女たちはあえて外地で就職することを選んだのか。当時の女性規範を大きく踏み越えたその行動と背景に、様々な角度から光を当てる。

2025.9./ 301p  
978-4-12-110162-4

¥2,475〔税込〕



読売新聞 2025/11/30



## 虹の解体～世界はなぜ美しいのか～(ハヤカワ文庫 NF 620)

リチャード・ドーキンス／福岡伸一 著  
早川書房

この宇宙を織りなす究極的な秩序とは？ イデオロギーを排し事実を突きつめることはなぜ重要か？ 進化論や物理学がもたらす「センス・オブ・ワンダー」を明快に説いた、科学論の金字塔。

2025.11./ 602p  
978-4-15-050620-9

¥1,936〔税込〕



読売新聞 2025/11/30



### 激しく煌めく短い命

綿矢 りさ 著

文藝春秋

京都に暮らす久乃は、中学校の入学式で出会った同級生の縁にひと目で惹かれた。ふたりは周囲の偏見にも負けず、手さぐりで愛をはぐくんでいくが、あることがきっかけで決定的に引き裂かれ…。『文藝界』掲載を改稿し単行本化。

読売新聞 2025/11/30

2025.8./ 634p  
978-4-16-392009-2

¥2,585〔税込〕



### すごい人体、やばい人体～外科医が明かす命と健康のとおきのお話～

カラン・ラジャン 著

河出書房新社

人間の体は人を死に追いやることに夢中になっている？ 外科医の経験をもとに、ユーモラスな文体で、人体の知られざる機能や生物学的な意味をわかりやすく紹介する。実用的なアドバイスも掲載。

読売新聞 2025/11/30

2025.9./ 372p  
978-4-309-25494-4

¥2,860〔税込〕



### 男が「よよよよよ」と泣いていた～日本語は感情オノマトペが面白い～ (光文社新書 1375)

山口仲美 著

光文社

日本人には、物事の状態や様子を写す言葉「オノマトペ」をこよなく愛してきた歴史がある。日本人の泣く声や泣く様子、笑う声や笑う様子を表わすオノマトペを取り上げ、そこに潜む日本人の認識の仕方や時代性を追究する。

読売新聞 2025/11/30

2025.8./ 413p  
978-4-334-10739-0

¥1,254〔税込〕



### 狼少年 ABC(ミステリ・フロンティア 124)

梓崎 優 著

東京創元社

狼の生態に関するフィールドワークをする3人の大学生。ひとりが、喋る狼に会ったことがあると言い出し…。表題作など4つの中編を収録する、ミステリ仕立ての青春小説。『ミステリーズ!』掲載などに書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2025/11/30

2025.10./ 269p  
978-4-488-02030-9

¥1,980〔税込〕



### 東京文学的喫茶(MOE BOOKS)

甲斐 みのり 著

白泉社

文豪が愛し通いつめたお店、絵本や小説に登場するおいしそうなメニュー、マンガにゆかりのある土地、有名画家が描いたお菓子屋さんの包み紙…。作品の世界に浸れる東京のスポットを紹介。『MOE』掲載に加筆。

読売新聞 2025/11/30

2025.11./ 127p  
978-4-592-73328-7

¥1,760〔税込〕





## アゲハ蝶の白地図～知られざる怪蝶の謎を追う～(ヤマケイ文庫)

五十嵐 邁 著

山と溪谷社

吸血ヒルの襲撃、飛行機の墜落、砂漠の熱波、そして原因不明の高熱。それでも、未知の蝶を探し求めた…。ひたむきな研究で蝶の空白地図を埋め、「蝶大国・日本」に導いた快男児の、ユーモア溢れる探検記。

読売新聞 2025/11/30

2025:10./ 421p  
978-4-635-05019-7

¥1,540〔税込〕



## 教育とは何か

ティム・インゴルド 著

亜紀書房

効果的に学生-消費者へと配達される「知識の商品」は、不確実な外部から身を守り、自己を内部に閉じ込める「知の鎧」にすぎない。人類学を軸にさまざまな研究者の知見をひもときながら、「生きる」ための教育のあり方を示す。

読売新聞 2025/11/30

2025:9./ 320p  
978-4-7505-1882-4

¥2,860〔税込〕



## シュリック教授殺害事件～ウィーン学団盛衰史～

デイヴィッド・エドモンズ 著

晶文社

1936年、論理実証主義を掲げる「ウィーン学団」の哲学者モーリッツ・シュリックが元教え子に射殺された。不寛容と反知性主義を象徴する事件を軸に、現代英米哲学のルーツとなった思想運動の興隆と蹉跌を活写する。

読売新聞 2025/11/30

2025:8./ 582p  
978-4-7949-8008-3

¥3,850〔税込〕



## 世界の深海生物大全～暗黒の世界に棲むヤバイ生き物大図鑑～

めかぶ 著

S Bクリエイティブ

深海に生きる生物たちは、その過酷な環境に適応するため、地上の生物では考えられないような特徴を持っている。そんな「地球の小宇宙」とも言える深海に生きる生物たちの不思議や秘密、魅力をイラストとともに紹介する。

読売新聞 2025/11/30

2025:8./ 287p  
978-4-8156-2968-7

¥2,970〔税込〕



## キリンが文学を聞いたら～サバンナで続ける証言現代文芸史 70～

本よみうり堂 編

本よみうり堂 著

書肆侃侃房

あのとき、文学に関わる人はどんなことを感じていたのか。宮本輝「泥の河」、横山秀夫「陰の季節」など時代を映した名著・執筆陣の証言を取り上げ、1960年代から2020年代を振り返る。『読売新聞』連載をもとに書籍化。

読売新聞 2025/11/30

2025:8./ 206p  
978-4-86385-688-2

¥1,980〔税込〕





古事記物語 改版(岩波少年文庫)

1957:12./ 296p



福永 武彦 著

岩波書店

スサノオノミコトの大蛇退治、イナバの白ウサギ、海幸と山幸、ヤマトタケルノミコトの冒険など、日本民族のいぶきをいきいきと伝える有名な神話が、楽しく大らかに語られます。

日本経済新聞 2025/11/01



万葉秀歌<上巻>(岩波新書 赤版 R-2)

1968:11./ 232p

978-4-00-400002-0

¥990〔税込〕



斎藤 茂吉 著

岩波書店

「万葉集入門」として本書の右に出るものはいまだない。万葉の精神をふまえて自己の歌風を確立した一代の歌人たる著者が、約四百の秀歌を選び、簡潔にしてゆきとどいた解説を付して鑑賞の手引きを編んだ。

日本経済新聞 2025/11/01



万葉秀歌<下巻>(岩波新書 赤版 R-3)

1968:12./ 190p

978-4-00-400003-7

¥968〔税込〕



斎藤 茂吉 著

岩波書店

日本経済新聞 2025/11/01



歳月(岩波現代文庫 文芸 369)

2025:5./ 178p

978-4-00-602369-0

¥990〔税込〕



茨木 のり子 著

岩波書店

茨木 のり子が、最愛の夫が他界したあと書き継いだ、亡夫に贈る愛の詩篇。戦後の女性の生き方を読者の知性に訴え続けてきた詩人が、自らの生の姿をはじめて明かす。

日本経済新聞 2025/11/01



サボテンは世界をつくり出す～「緑の哲学者」の知られざる生態～(朝日新書 1025)

2025:10./ 247p

978-4-02-295341-4

¥1,045〔税込〕



堀部貴紀 著

朝日新聞出版

過酷な環境に適応して懸命に育ち、美しい花を咲かせるサボテン。温暖化防止効果や食料の可能性といった驚異のしくみや、文化・社会・技術・信仰の交差点を往来する多層性を描き出し、生物の存在について思索する。

日本経済新聞 2025/11/01



**日本という方法～おもかげの国・うつろいの国～(角川ソフィア文庫 L499-1)**

松岡 正剛 著

KADOKAWA

日本を「方法の国」として考える日本論。史書の編纂から日記、短歌、また政治・経済のシステムや、書くこと話すこと、生きることそのもののまでを編集行為として捉え、日本を日本ならしめている「日本的編集方法」を探る。

日本経済新聞 2025/11/01

2020:9./ 380p  
978-4-04-400613-6

¥1,408〔税込〕



**明恵上人～現代日本のエッセイ～(講談社文芸文庫)**

白洲 正子 著

講談社

山中に一人修行することを望んだ高山寺開祖・高僧明恵。能・書画に造詣深い著者が、「明恵上人樹上座禅像」に出逢い、自然の中に没入しきって気魄に満ちた、強靱な人間の美しい姿に魅せられ、その生きざまを追究。

日本経済新聞 2025/11/01

1992:3./ 217p  
978-4-06-196166-1

¥1,210〔税込〕



**熊楠の星の時間(講談社選書メチエ 630)**

中沢 新一 著

講談社

エコロジー、仏教、科学の向こう側へ。新しい時代を切り拓くために、大天才の可能性を解き放つ! 粘菌、華嚴經、レンマという3つの視点から、南方熊楠の思想をあらためて問い直す試み。南方熊楠に関する講演を中心に書籍化。

日本経済新聞 2025/11/01

2016:5./ 191p  
978-4-06-258633-7

¥1,760〔税込〕



**高速取引～株式市場にAIがもたらすマーケット・インパクト～(星海社新書 350)**

水田 孝信 著

星海社

1秒に数千回の注文が可能な高速取引業者。「彼ら」がいなければ、株式市場はもはや機能しない? 人工知能学会で活躍する資産運用会社勤務の著者が、高速取引とAIが市場に与える影響について解説する。

日本経済新聞 2025/11/01

2025:9./ 204p  
978-4-06-540650-2

¥1,375〔税込〕



**新編 風の又三郎(新潮文庫)**

宮沢 賢治 著

新潮社

日本経済新聞 2025/11/01

1989:2./ 345p  
978-4-10-109204-1

¥572〔税込〕





## 石原家の兄弟

石原 伸晃／石原 良純／石原 宏高／石原 延啓 著  
新潮社

父は昭和を代表する作家にして政治家。奔放な夫を支える母。伯父は昭和の大人気俳優。そこに生まれた兄弟の生き様は四者四様で…。石原家に生まれた自身の半生から両親の最期まで、11のテーマで四兄弟が綴る。

日本経済新聞 2025/11/01

2025/10./ 285p  
978-4-10-387503-1

¥1,980〔税込〕



## 世界秩序〜グローバル化の夢と挫折〜(中公新書 2872)

田所 昌幸 著  
中央公論新社

崩れゆくアメリカ主導のグローバリゼーション。大転換する世界はどこへ向かうか？ 古代ローマ帝国から現代のアメリカ極優位までを俯瞰し、「一つの世界」への統合と、分解のダイナミクスを捉える。日本の未来も考察。

日本経済新聞 2025/11/01

2025/9./ 208p  
978-4-12-102872-3

¥1,012〔税込〕



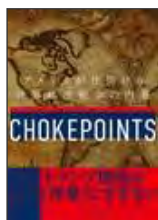
## あなたの人生の物語(ハヤカワ文庫 SF)

テッド・チャン 著  
早川書房

日本経済新聞 2025/11/01

2003/9./ 521p  
978-4-15-011458-9

¥1,815〔税込〕



## チョークポイント〜アメリカが仕掛ける世界経済戦争の内幕〜

エドワード・フィッシュマン、三木 俊哉 著  
日経BP社

トランプ関税は「序章」にすぎない。イランと爆弾、ロシアの帝国主義的な領土収奪、中国が目指す技術支配…。チョークポイントをめぐる経済戦争時代に、日本はどう対応すべきか。その知恵と未来のシナリオを提示する。

日本経済新聞 2025/11/01

2025/9./ 559p  
978-4-296-00248-1

¥4,620〔税込〕



## 国際情勢を読み解く技術

小泉 悠／黒井 文太郎 著  
宝島社

フェイク情報やナラティブ(物語)が情報空間を汚染し、個々の認知・認識を容易に歪める時代に、正しい情報・ファクトをどう見定めればよいのか。混迷時代の国際ニュースの収集・分析の手法について語り合う。

日本経済新聞 2025/11/01

2025/9./ 255p  
978-4-299-06825-5

¥1,760〔税込〕





## 弁護士不足～日本を支える法的インフラの危機～(ちくま新書 1877)

内田 貴 著

筑摩書房

沈没寸前の「この国の基盤」をどうするか？ 社会・経済を法的に支える専門職の弁護士が足りない。ロースクール・司法試験という人材養成課程の失敗に着目し、そのマーケットや仕事の本質も含めて検証する。

2025:9./ 265p  
978-4-480-07707-3

¥1,056〔税込〕



日本経済新聞 2025/11/01



## 黄昏ラジオ(ハルキ文庫 ふ 11-1)

藤井 青銅 著

角川春樹事務所

海岸通りにほど近い喫茶店の女主人が、店と番組との不思議な因縁を語る表題作をはじめ、ラジオ局を舞台に繰り広げられるさまざまな人間模様を、甘く切なくコミカルに描いた作品集。

2025:10./ 271p  
978-4-7584-4762-1

¥858〔税込〕



日本経済新聞 2025/11/01



## 人間仮免中

卯月妙子 著

イースト・プレス

夫の借金と自殺、自身の病気、自殺未遂。日常を取り戻していくなかで、あらためてポビーへの愛と生きることの幸せを実感する。

2012:5./ 330p  
978-4-7816-0741-2

¥1,430〔税込〕



日本経済新聞 2025/11/01

## フロー体験 喜びの現象学(Sekaishiso seminar)

M.チクセントミハイ 著

世界思想社

日本経済新聞 2025/11/01

1996:8./ 360p  
978-4-7907-0614-4

¥2,669〔税込〕



## 昆虫学事始～日本の昆虫研究を支えた人々～

奥本 大三郎 著

青土社

種の同定、標本製作から図鑑編集、ファープル「昆虫記」翻訳まで。明治から昭和にかけて、捕虫網を片手に時代を駆け抜けた6人の虫屋たちの姿をいきいきと描く、異色の昆虫学史。『アステイオン』等連載を大幅に加筆修正。

2025:9./ 320p  
978-4-7917-7730-3

¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2025/11/01



## エムバペ・レヴォリューション

ジャン＝バティスト・ゲガン 著  
カンゼン

マクロンとの蜜月、スポンサー契約拒否、アンチ・ネイマール、パリ・オリンピックの不参加…。サッカー界のスーパースター、キリアン・エムバペのバイオグラフィー。わずか数年で世界の頂点へとつぼりつめた彼の核心に迫る。

日本経済新聞 2025/11/01

2025:8./ 286p  
978-4-86255-775-9

¥2,750〔税込〕



9 7 8 4 8 6 2 5 5 7 7 5 9



## 学習する組織～システム思考で未来を創造する～

ピーター・M.センゲ、枝廣 淳子、小田 理一郎、中小路 佳代子 著  
英治出版

自律的かつ柔軟に進化しつづける「学習する組織」のコンセプトと構築法を説き、経営の本質をえぐる名著。企業、学校、地域コミュニティ、社会課題など、さまざまな実践事例を踏まえて大幅に加筆修正。

日本経済新聞 2025/11/01

2011:6./ 581p  
978-4-86276-101-9

¥3,850〔税込〕



9 7 8 4 8 6 2 7 6 1 0 1 9



## ノスタルジアは世界を滅ぼすのか～ある危険な感情の歴史～

アグネス・アーノルド＝フォースター 著  
東洋経済新報社

“あの頃は良かった”という甘くも切ない感情「ノスタルジア」。政治・社会・経済・ビジネスへの影響など、世の中を動かす危険な感情としてのノスタルジアの変遷を読み解き、その知られざる力と巧妙なメカニズムを解き明かす。

日本経済新聞 2025/11/01、産経新聞 2025/11/23

2025:9./ 386p  
978-4-492-22431-1

¥2,420〔税込〕



9 7 8 4 4 9 2 2 2 4 3 1 1



## 世界最高の辞典を作った名もなき人びと

サラ・オーグルヴィ 著  
早川書房

19世紀、大英帝国が威信をかけた辞書編纂プロジェクト「オックスフォード英語大辞典」には、約3000人もの多様な協力者が存在した。考古学者、ポルノ収集家、婦人参政権論者…。知られざる一般の人びとの貢献を描き出す。

日本経済新聞 2025/11/01、読売新聞 2025/11/02、朝日新聞 2025/11/08

2025:9./ 423p  
978-4-15-210460-1

¥4,950〔税込〕



9 7 8 4 1 5 2 1 0 4 6 0 1



## 人びとの社会戦争～日本はなぜ戦争への道を歩んだのか～

益田 肇 著  
岩波書店

私たちの社会はどうあるべきか。私たちは何を願い、何を戦っていたのか。軍国主義日本が起こした戦争に巻き込まれる国民という視点からは抜け落ちる、普通の人びとの「社会戦争」のダイナミズムから近現代日本の実像を追う。

日本経済新聞 2025/11/01、読売新聞 2025/11/23

2025:9./ 662p  
978-4-00-024562-3

¥4,730〔税込〕



9 7 8 4 0 0 0 2 4 5 6 2 3





### 茨木のり子全詩集 新版

茨木 のり子、宮崎 治 著  
岩波書店

「対話」「鎮魂歌」「自分の感受性くらい」「倚りかからず」「歲月」など、茨木のり子の全詩集と詩集未収録詩篇、著者の「スクラップブック」6冊に遺された全詩作品を掲載。新発見の詩、代表的エッセイ、口絵写真を追加収録。

日本経済新聞 2025/11/01、読売新聞 2025/11/23

2025:9./ 546p  
978-4-00-061713-0

¥9,020〔税込〕



### 自分の感受性くらい(岩波現代文庫 文芸 368)

茨木 のり子 著  
岩波書店

すがすがしく生きたいと思う心そのままを、確かな視線と優しい言葉でとらえた、あざやかな茨木のり子の詩の世界。1969年から1976年にかけての作品20篇を収めた詩集。伊藤比呂美による解説を加えて文庫化。

日本経済新聞 2025/11/01、読売新聞 2025/11/23

2025:4./ 124p  
978-4-00-602368-3

¥770〔税込〕



### 空、はてしない青<上>

メリッサ・ダ・コスタ 著  
講談社

余命2年と宣告されたエミルは、人生最後の旅の同行者を掲示板で募集する。返信をくれたジョアンヌと名乗る小柄な若い女性と2人で、とりあえずキャンピングカーでピレネー山脈へ向かう。それは驚くほど美しい旅の始まりで....。

日本経済新聞 2025/11/01、読売新聞 2025/11/23

2025:9./ 412p  
978-4-06-535416-2

¥2,310〔税込〕



### 空、はてしない青<下>

メリッサ・ダ・コスタ 著  
講談社

どこまでも続く空と海。エミルとジョアンヌは、南フランスの陽光きらめく中をキャンピングカーで旅していた。子猫のポックと出会い、2人と1匹は静かに時を重ねる。しかし、進行する病が、エミルをゆっくりと蝕んでいき....。

日本経済新聞 2025/11/01、読売新聞 2025/11/23

2025:9./ 412p  
978-4-06-539587-5

¥2,310〔税込〕



### 歴史学は世界を変えることができるか

松沢 裕作 著  
岩波書店

世界を変えたいと願うとき、歴史学には役割がある。抑圧の構造を読み解き、人びとの解放への夢を想起すること。そして、それらを開かれた言葉にすること。ラディカルな態度に貫かれた思索の軌跡。

日本経済新聞 2025/11/08

2025:8./ 258p  
978-4-00-025679-7

¥2,640〔税込〕





### 韓国消滅の危機～人口激減社会のリアル～(角川新書 K-496)

菅野 朋子 著

KADOKAWA

激動の隣国は、未来のニッポンか？ このままでは国がもうもたない。未曾有の人口減少に直面しつつある韓国で進む地方の崩壊、揺れる移民政策、そして後がない中での少子化対策の行方を現地記者がレポートする。

日本経済新聞 2025/11/08

2025/10./ 262p  
978-4-04-082535-9

¥1,056〔税込〕



### 空飛ぶ微生物～気候を変え、進化をみちびく驚きの生命体～(ブルーバックス B-2306)

牧 輝弥 著

講談社

人の健康のみならず、気候にすら影響を与え、物質循環にも貢献し、生命の起源と進化にも重要な役割を果たしてきた微生物。新たな惑星の生命誕生のきっかけになる可能性すらあるという「大気微生物」を第一人者が徹底解説する。

日本経済新聞 2025/11/08

2025/9./ 248p  
978-4-06-540928-2

¥1,100〔税込〕



### 地経学とは何か～経済が武器化する時代の戦略思考～(新潮選書)

鈴木 一人 著

新潮社

自由貿易とグローバル化が終わり进行を告げ、トランプ関税、中国のレアアースなど、経済が武器化する時代が到来した。地政学に経済安全保障の概念を取り入れた「地経学」で、世界情勢を捉え直す。経団連セミナーを書籍化。

日本経済新聞 2025/11/08

2025/9./ 287p  
978-4-10-603934-8

¥1,925〔税込〕



### 平和の再建～安達峰一郎と戦間期日本外交～

牧野 雅彦 著

東京大学出版会

国際政治の表舞台となった国際連盟における日本外交の姿を、その中心を担った安達峰一郎を軸にさまざまな視角から立体的に描く。日本外交の光と影を、ヨーロッパ協調の崩壊過程とあわせて浮き彫りにする。

日本経済新聞 2025/11/08

2025/9./ 448p  
978-4-13-030196-1

¥5,390〔税込〕



### 万感のおもひ(文春文庫 ま 24-8)

万城目 学 著

文藝春秋

創作のこと、大阪のこと、京都のこと、季節のこと、家族のこと…。笑いの風景のなかで見つけた確かな人生の手触りに涙がにじむ、万城目学のエッセイ集。17年におよんだ直木賞選考結果の「待ち会」など4篇を加え文庫化。

日本経済新聞 2025/11/08

2025/10./ 228p  
978-4-16-792431-7

¥781〔税込〕





## 令和米騒動～日本農政失敗の本質～

荒幡克己 著

日経 B P 社

令和日本を襲った米不足。その陰には、高温障害による 2 年連続の実質的な不作があった。現場主義の研究者が、危機の真相と産地の実態に迫り、減反、直接支払、米輸出、高温対策への戦略的取り組みを明示する。

日本経済新聞 2025/11/08

2025:9./ 251p

978-4-296-12523-4

¥2,750〔税込〕



## 拳闘士の休息(河出文庫)

トム・ジョーンズ 著

河出書房新社

「生」を痛みとして疾走する主人公たちが奈落の手前で垣間みる光とは。O・ヘンリー賞受賞作家の衝撃のデビュー短編集、待望の復刊。

日本経済新聞 2025/11/08

2009:10./ 342p

978-4-309-46327-8

¥990〔税込〕



## 子育て罰～「親子に冷たい日本」を変えるには～(光文社新書 1143)

末富芳、桜井啓太 著

光文社

子育てを自己責任とみなし、親子を苦しめる社会・政治の制度・慣行を「子育て罰」と定義。日本から「子育て罰」をなくし、親子にやさしい国にするための方策を論じる。

日本経済新聞 2025/11/08

2021:7./ 290p



## 顔を失った兵士たち～第一次世界大戦中のある形成外科医の闘い～

リンジー・フィッツハリス 著

人文書院

手足を失った兵士は英雄となったが、顔を失った兵士は、醜い外見に寛容でなかった社会にとって怪物となった。塹壕の殺戮からの長くつらい回復過程と形成外科医の奮闘を描くヒューマン・ノンフィクション。

日本経済新聞 2025/11/08

2025:9./ 324p

978-4-409-51106-0

¥4,180〔税込〕



## 思考の整理学(ちくま文庫)

外山 滋比古 著

筑摩書房

アイデアを軽やかに離陸させ、思考をのびのびと飛行させる方法を、広い視野とシャープな論理で知られる著者が、明快に提示する。

日本経済新聞 2025/11/08

1986:4./ 223p

978-4-480-02047-5

¥572〔税込〕





## 思考の整理学 新版(ちくま文庫 と 1-11)

外山 滋比古 著

筑摩書房

朝飯前の時間が大切、忘却の効用、収斂的思考と拡散的読書…。アイディアを軽やかに離陸させ、思考をのびのびと飛行させる方法を明快に提示する。2009年の東京大学での講義を新収録。ワイド新版も同時刊行。

日本経済新聞 2025/11/08

2024.2./ 249p  
978-4-480-43912-3

¥693〔税込〕



## はじめての子ども論～子ども観の歴史社会学～(有斐閣ストゥディア)

元森 絵里子 著

有斐閣

“子ども”に関する私たちの常識はどこからきたのか？欧米と日本の近代化に沿い、保護され教育される存在へと変わりゆく過程を説明する。キーワードの解説にアクセスできる QR コード付き。

日本経済新聞 2025/11/08

2025.4./ 250p  
978-4-641-15135-2

¥2,420〔税込〕



## なぜ男女の賃金に格差があるのか～女性の生き方の経済学～

クラウディア・ゴールドディン 著

慶應義塾大学出版会

育児をしながら働き続けるときに、女性の前に立ちちはだかるものは何なのか。ジェンダー平等が進んできた現在でも残る男女の賃金格差の構造を、歴史と詳細なデータから解き明かす。

日本経済新聞 2025/11/08

2023.4./ 385p  
978-4-7664-2847-6

¥3,740〔税込〕



## 資本主義にとって倫理とは何か

ジョセフ・ヒース 著

慶應義塾大学出版会

なぜ人々は資本主義=市場経済について倫理的に不快に感じ、批判するのか。市場経済をめぐる正当性の議論と、市場競争のなかで重要な役割を果たす企業行動の是非について繊細に解きほぐす。

日本経済新聞 2025/11/08

2025.9./ 292p  
978-4-7664-3039-4

¥3,520〔税込〕



## 歴史修正ミュージアム

小森 真樹 著

太田出版

国の歴史、人種と差別の構造、性の語られ方、階級の記憶、展示を支える制度…。歴史の修正はどのようにして可能なのか。ミュージアムの現場から問い直し、「歴史修正」という言葉そのものを取り戻す。

日本経済新聞 2025/11/08

2025.9./ 302p  
978-4-7783-4068-1

¥3,300〔税込〕





## 仲介する日本～ロシアから中国への文化横断とリレー翻訳～

シャオルー・マー／秋草俊一郎 著

文学通信

近代におけるロシア・日本・中国の文化的リレーを読み解く書。中国が日本を経由してロシア文学・文化を受容した過程を、3か国の一次資料に基づいて仔細に分析。言語と国境を越えて形成された日中露の近代の姿を描出する。

日本経済新聞 2025/11/08

2025.9./ 366p  
978-4-86766-096-6

¥3,960〔税込〕



## ミャンマー、優しい市民はなぜ武器を手にしたのか

西方 ちひろ 著

ホーム社

2021年2月の軍事クーデターにより、民主主義と自由を奪われたミャンマーの人々。非暴力で抵抗を示した市民たちを、軍は虐殺し始め…。クーデター後の1年間、著者が見た民主化闘争を綴った記録。SNS投稿を元に書籍化。

日本経済新聞 2025/11/08、読売新聞 2025/11/23

2025.9./ 271p  
978-4-8342-5409-9

¥1,980〔税込〕



## 深海の地図をつくる～五大洋の底をめぐる命がけの競争～

ローラ トレザウエイ 著

柏書房

五大洋の最深部を目指す探検家、北極圏の空白を埋めるイヌイットの猟師、メキシコ湾で潜水する考古学者、地形の命名と領土問題、情報を秘匿する国家…。欲望渦巻く海底にジャーナリストが迫る、海洋ノンフィクション。

日本経済新聞 2025/11/08、毎日新聞 2025/11/22

2025.9./ 439p  
978-4-7601-5646-7

¥2,970〔税込〕



## たとえば「自由」はリバディか～西洋の基礎概念とその翻訳語をめぐる6つの講義～

渡辺 浩 著

岩波書店

「自由」「権利」「法」など、西洋文明を形づくる基礎的な概念を翻訳した言葉の数々。これらは果たして原語と同じ意味なのか。日本政治思想史の研究者が、西欧における原義を探り、翻訳語の意味との相違を明らかにする。

日本経済新聞 2025/11/15

2025.10./ 368p  
978-4-00-061726-0

¥2,970〔税込〕



## 民主主義の死角～つくられた高齢者と若者の分断と対立～(朝日新書1027)

鵜飼健史 著

朝日新聞出版

高齢者の割合がますます高まり、シルバーデモクラシーに対し、多くの若者が不信感を抱いている。この問題の根幹にあるものは何か。政治を年齢の観点から考察し、政治のあるべき姿を導き出す。

日本経済新聞 2025/11/15

2025.10./ 329p  
978-4-02-295340-7

¥1,100〔税込〕







### 小説の小説(角川文庫 に 30-6)

似鳥 鶏 著

KADOKAWA

<小説という形式そのものをいじって遊ぶ>メタ・フィクションの娯楽小説集。<著者が一文字も書かない><注釈芸の限界に挑む><来るべき検閲対策>など、小説の概念を覆す全5編を収録。

日本経済新聞 2025/11/15

2025.9./ 272p  
978-4-04-116198-2

¥946〔税込〕



### 未来の衝撃(中公文庫)

アルヴィン・トフラー 著

中央公論新社

日本経済新聞 2025/11/15

1982.4./ 599p



### 一九八四年 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 53)

ジョージ・オーウェル 著

早川書房

<ビッグ・ブラザー>率いる党が支配する超全体主義的近未来。ウィンストン・スミスは真理省記録局に勤務する党员で、歴史の改竄が仕事だった。しかし彼は、以前より完璧な屈従を強いる体制に不満を抱いていた。

日本経済新聞 2025/11/15

2009.6./ 511p  
978-4-15-120053-3

¥990〔税込〕



### 100歳まで残す資産「使い切り」実践法〜60代からの“まさか”に備え、資産寿命を伸ばす知恵〜

野尻哲史 著

日経B P社

60代・70代でどのくらい資産を使っていいのか？資産が減っても「怖い」と思わないためには？相場急落時の上手な引き出し方は？退職後の資産を「賢く使う」コツをケース別に紹介する。

日本経済新聞 2025/11/15

2025.6./ 293p  
978-4-296-12426-8

¥1,870〔税込〕



### トランプの貿易戦争はなぜ失敗するのか〜それでも保護主義は常態化する〜

リチャード・ボールドウィン 著

日経B P社

アメリカが世界貿易秩序のリーダーから退いたいま、日本はどう対応すべきか。国際経済学の権威がトランプ政権の関税措置発動の背景を明らかにし、世界の行方を展望する。

日本経済新聞 2025/11/15

2025.9./ 288p  
978-4-296-12543-2

¥3,080〔税込〕





## サトシ・ナカモトはだれだ?～世界を変えたビットコイン発明者の正体に迫る～

ベンジャミン・ウォレス 著

河出書房新社

ブロックチェーンを世に放ち、ビットコインを生み出した謎の天才「サトシ・ナカモト」。“彼”はなぜ、決して人前に姿を現さないのか? そしてビットコイン誕生の裏に潜むある“思想”とは? 現代社会最大の謎に挑む。

日本経済新聞 2025/11/15

2025:9./ 429p  
978-4-309-22962-1

¥2,420〔税込〕



## ファイナンシャル・ライフ・エンジニアリング～したたかに“楽しむ”!洗練された「人生の経営者」を目指して～

井戸 照喜 著

金融財政事情研究会

個人投資の目的をウェルビーイングと捉え、年金 ALM の手法を応用して、退職までにどれだけの資産をどのように蓄積し、取り崩すかを合理的に決定する方法を示す。投資性資産への投資割合を数理的に決定する方法も提案する。

日本経済新聞 2025/11/15

2024:5./ 272p  
978-4-322-14442-0

¥3,080〔税込〕



## アニソン大全～「鉄腕アトム」から「鬼滅の刃」まで～

澄川 龍一 著

祥伝社

いつアニソンシンガーが生まれ、声優やアニメのキャラクターが歌うようになったのか。人気 J-POP アーティストがアニメと接近したのはいつなのか。60 年以上にわたるアニソンの歴史をまとめ、その進化の過程を紹介する。

日本経済新聞 2025/11/15

2025:11./ 229p  
978-4-396-61855-1

¥1,980〔税込〕



## 「新訳」経営者の条件(ドラッカー選書)

ピーター・ファーディナンド・ドラッカー 著

ダイヤモンド社

日本経済新聞 2025/11/15

1995:1./ 243p



## 経験する機械～心はいかにして現実を予測し構成するか～

アンディ・クラーク 著

筑摩書房

現実是我たちの外側にただ在るのではない。心は外界を受け取るだけの装置ではない。人間の能動的な予測によって、世界は絶えず構成されている。認知科学の世界的第一人者による理論的集大成。

日本経済新聞 2025/11/15

2025:10./ 352p  
978-4-480-84754-6

¥3,080〔税込〕





## 企業価値経営

伊藤 邦雄 著

日本経済新聞出版社

企業価値を評価する手法や概念が、経営という実践の場でどのような意義を持ち、どのように活用されているか。日本企業が直面している課題や現実にもとづいて理解できるよう、豊富な国内事例を取り上げてわかりやすく解説する。

日本経済新聞 2025/11/15

2021:4./ 732p  
978-4-532-13514-0

¥4,620〔税込〕



## コーヒーと内戦～エルサルバドル ヒル家三代の物語～

川島 良彰／山下 加夏 著

平凡社

コーヒー大国エルサルバドルで、生産者を守り、内戦を生き延びたジェームス・ヒルとヒル家 100 年の物語、そしてエルサルバドル・コーヒーの歴史をまとめ、コーヒーがいかに生産国の政治経済に大きな影響を及ぼすかを伝える。

日本経済新聞 2025/11/15

2025:9./ 305p  
978-4-582-83991-3

¥3,520〔税込〕



## 午前7時の朝ごはん研究所～朝食は料理にあらずパズルなり～

小田 真規子 著

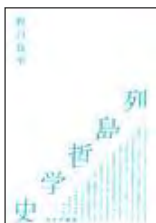
ポプラ社

水分・やさしさ・エネルギー・体温・栄養。何かが欠けているいつもの朝に、このピースをぱちんとはめると、気持ちいい一日がすごせる。残りの人生「全朝食」が確実においしくラクになるレシピを紹介する。

日本経済新聞 2025/11/15

2024:5./ 191p  
978-4-591-18174-4

¥1,540〔税込〕



## 列島哲学史

野口 良平 著

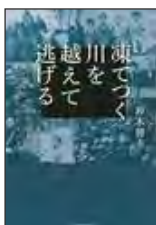
みすず書房

強大文明の辺境にある日本列島でうまれる哲学には、中央文明本位に普遍がイデオロギー化することに抗い、普遍に対する新しい考え方を構想する可能性があった。古代から現代まで「列島哲学」の歴史をたどる試み。

日本経済新聞 2025/11/15

2025:9./ 304p  
978-4-622-09802-7

¥3,960〔税込〕



## 凍てつく川を越えて逃げる～スターリン体制を逃れたウクライナのドイツ人～

鈴木 健夫 著

亜紀書房

オランダから北ドイツを経てロシアへ移り住み、困難な開拓の末に平和な暮らしを手に入れた信仰共同体<メノー派>の人々。生き延びるため、信仰を守るため、銃弾をかいくぐり川を渡った、波乱に満ちたその歴史を伝える。

日本経済新聞 2025/11/15

2025:9./ 270p  
978-4-7505-1886-2

¥2,970〔税込〕





## SINIC 理論～過去半世紀を言い当て、来たる半世紀を予測するオムロンの未来学～

中間 真一 著

日本能率協会マネジメントセンター

明るい未来はすぐそこにある-。1970 年にオムロン創業者らが構築した未来予測理論「SINIC 理論」について解説するとともに、これからの未来に向かうための SINIC 理論のアップデートを示す。

日本経済新聞 2025/11/15

2022:9./ 265p  
978-4-8005-9045-9

¥2,530〔税込〕



## わたしの百人の祖父母たち～北方領土・元島民の肖像～

山田 淳子 著

北海道新聞社

私は祖父のことを知らない-。北方領土元島民 3 世の著者による写真ルポルタージュ。島の学校に通い、昆布を干し、旧ソ連兵の侵攻に翻弄された、元島民 100 人の幼少期の記憶をポートレートとともに紹介する。

日本経済新聞 2025/11/15

2025:9./ 190p  
978-4-86721-169-4

¥2,750〔税込〕



## 論点で学ぶ IFRS 会計基準(ライブラリ論点で学ぶ会計学 2)

山田 辰己、あずさ監査法人 著

新世社

IFRS の原理原則を解説したテキスト。基準設定の背景や実務での対応に触れた「もう少し考えてみよう」「関連 Topics」や、「理解度チェック」なども掲載。IFRS 第 18 号「財務諸表における表示及び開示」に対応。

日本経済新聞 2025/11/15

2025:7./ 480p  
978-4-88384-410-4

¥4,070〔税込〕



## サム・アルトマン～「生成 AI」で世界を手にした起業家の野望～

キーチ・ヘイギー、櫻井 祐子 著

ユーザベース

「ChatGPT」を生んだオープン AI の天才創業者、サム・アルトマン。密着取材や重要関係者への取材をもとに、「謎の起業家」の栄光と失敗の半生、戦略、思考、そして AI の先の「文明の建設者」になる野望を明かす。

日本経済新聞 2025/11/15

2025:10./ 480p  
978-4-910063-44-7

¥2,530〔税込〕



## 他人の手帳は「密」の味～禁断の読書論～(小学館新書 499)

小学館 著

小学館

一般人の日記や手帳を 2000 冊以上収集、展示する活動を行ってきた手帳類収集家が、「手書きの記録」を読む魅力を掘り下げる。市井の人々が残す記録との向き合い方、意義に迫る。テキストデータ申請用 QR コード付き。

日本経済新聞 2025/11/15、読売新聞 2025/11/23

2025:10./ 285p  
978-4-09-825499-6

¥1,100〔税込〕





## タブーを破った外交官～田中均回顧録～

田中 均、井上 正也 著

岩波書店

冷戦終結後の日本が直面した数々の外交案件に取り組んだ外交官はその時、何を考え、何をしたいと思ったのか。プロフェッショナルが果たすべき役割とは何か。元外交官・田中均がすべてを語り尽くしたオーラルヒストリー。

日本経済新聞 2025/11/22

2025:10./ 384p  
978-4-00-061719-2

¥3,190〔税込〕



## シークレット・オブ・シークレッツ<上>

ダン・ブラウン、越前 敏弥 著

KADOKAWA

宗教象徴学者ラングドンはプラハを訪れていた。「人間の意識」についての衝撃的な事実を突き止め、本の原稿を書き上げたキャサリンの講演を聞くためだ。ところがキャサリンは講演を終えた翌朝、忽然と姿を消してしまい…。

日本経済新聞 2025/11/22

2025:11./ 395p  
978-4-04-116469-3

¥2,750〔税込〕



## シークレット・オブ・シークレッツ<下>

ダン・ブラウン、越前 敏弥 著

KADOKAWA

キャサリンを見つけ出したラングドンは、彼女が明かした原稿の全貌に驚愕する。それは、人々が信じてきた通念や歴史を一変させかねない内容だった。ラングドンとキャサリンは、プラハの深くに隠された暗い秘密に迫り…。

日本経済新聞 2025/11/22

2025:11./ 427p  
978-4-04-116470-9

¥2,750〔税込〕



## ワイルドライフマネジメント

梶 光一 著

東京大学出版会

持続可能な自然を未来に残すためにできることは-。日本独自の動物管理システムを確立するための試行錯誤の研究史を豊富なエピソードとともに紹介し、科学と政策の視点から動物管理の日本モデルを提言する。

日本経済新聞 2025/11/22

2023:5./ 272p  
978-4-13-062233-2

¥4,620〔税込〕



## ツキノワグマ～すぐそこにいる野生動物～

山崎 晃司 著

東京大学出版会

野生動物と人間の世界が交差する現代における両者のつきあい方とは。人間とツキノワグマの歴史をていねいにたどりながら、その生態をとらえなおし、管理や保全のための試み、これからのつきあい方を考える。

日本経済新聞 2025/11/22

2017:8./ 276p  
978-4-13-063348-2

¥3,960〔税込〕







## アーバン・ベア〜となりのヒグマと向き合う〜

佐藤 喜和 著

東京大学出版会

かつてアイヌの人々に神と崇められ、開拓期には駆除の対象となり、現代では豊かな自然の象徴となったヒグマ。かれらはなぜ市街地に出没するようになったのか。ヒグマの生態からその謎に迫る。

日本経済新聞 2025/11/22

2021:7./ 276p

978-4-13-063950-7

¥4,400〔税込〕



## コメ危機の深層(日経プレミアシリーズ 535)

西川邦夫 著

日経 B P 社

国民に大きな影響を及ぼした令和のコメ騒動。コメはなぜ不足したのか？ 輸入米はどうなるのか？ 流通に問題はあるのか？ 気鋭の専門家が令和のコメ騒動の背景を読み解き、将来を見据えたコメの適正価格を探る。

日本経済新聞 2025/11/22

2025:9./ 279p

978-4-296-12507-4

¥1,210〔税込〕



## 犬と〜いぬのエッセイアンソロジー〜(河出文庫 ん 7-2)

佐藤愛子（作家）、幸田文 著

河出書房新社

うちのコのこととなれば頬は緩み目を細め、手放しで愛を語る飼い主という名のしもべたち。佐藤愛子、小川糸、江國香織、高橋幸宏らが、犬と過ごす時間を描いたエッセイ全 39 篇を収録。文庫オリジナル・アンソロジー。

日本経済新聞 2025/11/22

2025:11./ 245p

978-4-309-42230-5

¥990〔税込〕



## 現代誤情報学入門

ジョン・ルーゼンビーク、サンダー・ヴァン・ダー・リンダン 著

日本評論社

いま、世間を席巻するフェイクニュースや陰謀論。人は不確かな情報をなぜ信じるのか、どのように惑わされるのか、どうすれば騙されないか。「誤情報」の定義や歴史から拡散してしまう理由、対策までを、第一人者が解き明かす。

日本経済新聞 2025/11/22

2025:10./ 256p

978-4-535-79044-5

¥3,740〔税込〕



## 赤と青のガウン〜オックスフォード留学記〜(PHP 文庫 あ 66-1)

彬子女王 著

P H P 研究所

古代ケルト史を学ぶ日々、マートン・コレッジの一日、女王陛下とのアフタヌーン・ティー、人生でいちばん緊張した日…。女性皇族として初めて海外で博士号を取得した彬子女王の涙と笑いのオックスフォード留学報告。

日本経済新聞 2025/11/22

2024:4./ 396p

978-4-569-90400-9

¥1,320〔税込〕





## 演劇と観光～近代娯楽文化の生態系と舞台芸術～

マーガレット・ウェリー 著

福村出版

演劇と観光はいかに結びつき、人々を日常から別世界へ誘うのか。歴史・社会・文化の諸相を通じて両者の交錯を解明し、現代における舞台と都市の新たな意味を問い直す。平田オリザによる付論も収録。

日本経済新聞 2025/11/22

2025.10./ 232p  
978-4-571-41084-0

¥3,190〔税込〕



## 剥き出しの帝国～レイシズムと植民地主義はいかに世界を支配し続けているのか～

カインディ・アンドリュース 著

明石書店

ジェノサイド、奴隷制、植民地主義は、西洋を築いた礎石であり、白人至上主義を通じて富と不平等を形成し、なおも新植民地を推し進めている。現代の帝国の構造を、グローバルな視座から問い直す。

日本経済新聞 2025/11/22

2025.9./ 381p  
978-4-7503-5962-5

¥3,850〔税込〕



## 誰にも見えない子ども～アメリカの大都市で生きるホームレスの少女の記録～

アンドレア・エリオット 著

亜紀書房

頭脳明晰で運動神経も抜群の少女ダサニは、全寮制の学校への転校を機に、貧困から抜け出す道が見え始める。一方、家族は崩壊寸前に追い込まれ…。NY ホームレスの少女とその一家に密着し、貧困の本質に迫るノンフィクション。

日本経済新聞 2025/11/22

2025.9./ 699p  
978-4-7505-1887-9

¥4,950〔税込〕



## 現代ロシアの歴史認識論争～「大祖国戦争史観」をめぐるプーチン政権の思惑～

西山 美久 著

慶應義塾大学出版会

プーチン政権はいかにして「大祖国戦争史観」の正当化・宣伝を図っているのか。そしてそれは、ロシア・ウクライナ戦争にどう結びついているのか。膨大な資料をひも解き、その実態・ダイナミズムを明らかにする。

日本経済新聞 2025/11/22

2025.10./ 416p  
978-4-7664-3048-6

¥3,960〔税込〕





## けものが街にやってくる～人口減少社会と野生動物がもたらす災害リスク

～

羽澄 俊裕 著

地人書館

早く手をつけないと大変なことになる！野生動物がもたらす災害リスクの問題をテーマに、人口減少問題、国土計画、解決に向けた課題について解説。コロナ禍の今、この問題に取り組まずに新しい社会の構築はありえないと説く。

日本経済新聞 2025/11/22

2020:10./ 248p  
978-4-8052-0944-8

¥2,200〔税込〕



## 教養としてのコーヒー(SB 新書 703)

井崎 英典 著

S B クリエイティブ

コーヒーの歴史から、コーヒーが届くまでの裏側、現代コーヒービジネスの最前線までをガイド。ドリップコーヒーの淹れ方といった最低限の嗜みも解説する。文芸評論家・三宅香帆との対談も収録。

日本経済新聞 2025/11/22

2025:9./ 287p  
978-4-8156-3604-3

¥1,045〔税込〕



## ホームレス夫婦、「塩の道」1014 キロを歩く

レイナー・ウィン 著

いそっぷ社

家なし、職なし、夫は不治の病。人生崖っぷちに追い込まれた 50 代夫婦が、イギリス沿岸の果てなき道を踏破する冒険の旅に出て…。妻のレイナー・ウィンが、全長 1014 キロの「塩の道」に挑んだ日々を綴る。

日本経済新聞 2025/11/22

2025:10./ 359p  
978-4-910962-11-5

¥1,980〔税込〕



## 玉三郎の「風を得て」

真山 仁 著

文藝春秋

長年にわたる対話を元に、坂東玉三郎の半生を小説形式で描いた「秘すれば花」、世阿弥「風姿花伝」にちなみながら、彼の哲学と美学の深淵に迫った「その風を得て」を収録。貴重な写真も満載。『文藝春秋』ほか掲載を書籍化。

日本経済新聞 2025/11/22、毎日新聞 2025/11/29

2025:9./ 180p  
978-4-16-392020-7

¥1,760〔税込〕



## 火星の女王

小川 哲 著

早川書房

地球外知的生命の探求のために火星にやってきた生物学者のリキ・カワナベは、とある重大な発見をする。いっぽう火星生まれの少女、リリ-E1102 は、地球に観光に行くことを夢みて…。NHK 総合ドラマの原作。

日本経済新聞 2025/11/29

2025:10./ 318p  
978-4-15-210469-4

¥2,090〔税込〕





### チャールズ・T・マンガーの金言

ピーター・D・カウフマン 編

チャールズ・T・マンガー 著

日経B P社

ウォーレン・E・バフェットの相棒にして伝説的な投資家、チャールズ・T・マンガー。彼の学習、意思決定、投資に対するアプローチや講演の内容、ウィットに富んだ言葉などを紹介する。バフェットらの序文も収録。

日本経済新聞 2025/11/29

2025:9./ 565p  
978-4-296-11950-9

¥5,500〔税込〕



### サロメ(光文社古典新訳文庫 KA W 1-2)

ワイルド 著

光文社

継父ヘロデ王の御前で舞ってみせた王女サロメが褒美に求めたものは、囚われの美しき預言者ヨカナンの首だった…。少女の無垢で残酷な激情と悲劇的結末を鮮烈に描いた戯曲作品。

日本経済新聞 2025/11/29

2012:4./ 225p  
978-4-334-75248-4

¥858〔税込〕



### エメ・セゼール～「黒人」の発明～(筑摩選書 0316)

尾立 要子 著

筑摩書房

「黒人(ネグリチュード)」概念を創出し、植民地主義を批判した現代カリブの最重要知識人セゼール。詩人としての評価を確立し、政治家としても活躍したセゼールを、公文書資料や彼自身へのインタビューをもとに描き出す評価。

日本経済新聞 2025/11/29

2025:10./ 352p  
978-4-480-01834-2

¥2,310〔税込〕



### 問いとしてのウェルビーイング～人・社会・自然のよい状態を考える～

齊藤 紀子、荒川 敏彦 著

中央経済社

構造的暴力を補助線として「人・社会・自然のよい状態」を考察。従来マイノリティとされたものや捨象されたものに焦点を当てつつ、他者、他のいきもの、他の物質など「他」とのかかわりからウェルビーイングを問い直す。

日本経済新聞 2025/11/29

2025:10./ 224p  
978-4-502-55541-1

¥3,080〔税込〕



### 無数の言語、無数の世界～言葉に織り込まれた世界像を読み解く～

ケイレブ・エヴェレット 著

みすず書房

空を指して時刻を語り、「右」や「左」がなく、匂いを抽象的に精密に語る。世界の見方がどれほど異なりうるかが世界中の言語を通して見えてくる。言語と認知の可能性についての書。

日本経済新聞 2025/11/29

2025:10./ 328p  
978-4-622-09777-8

¥3,630〔税込〕





## ドイツ戦後史～1945-1955～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 5-4)

ハラルト・イエナー 著

亜紀書房

第二次世界大戦後、ドイツ人は自身の責任から目を逸らしながらも、新しい文化を育んでいった。ドイツを改変しようとする戦勝国の思惑を超え、清濁ともに抱えながら民主主義を紡いでいく、その光と闇を克明に描き出す。

日本経済新聞 2025/11/29

2025:9./ 552p  
978-4-7505-1889-3

¥4,620〔税込〕



## ウェルビーイング学～理論・エビデンス・実践～

リチャード・レイヤード、ヤン-エマニュエル・ドウ・ヌーヴ 著

慶應義塾大学出版会

「ウェルビーイング」の経済分野における第一人者による本格的な体系的テキスト。心理・脳科学、行動経済学等の基礎知識からデータ分析の最新手法まで網羅して解説する。

日本経済新聞 2025/11/29

2025:10./ 464p  
978-4-7664-3060-8

¥4,950〔税込〕



## 13歳からの哲学的思考～予測不能な未来を生き抜くための最強スキル～

星 友啓 著

ソシム

AIは考えている？ なぜルールを守らなきゃいけないの？ “科学こそ絶対”ではない？

「12の問い」に正面から挑む哲学入門書。具体的なトピックを通し、中学生でもわかるよう解説する。

日本経済新聞 2025/11/29

2025:8./ 215p  
978-4-8026-1520-4

¥1,760〔税込〕



## 私が見た金正恩～北朝鮮亡命外交官の手記～

リ イルギュ、李 相哲 著

産経新聞出版

北朝鮮にとって拉致問題は「餌」。監視、裏切り、権力闘争、密輸、核、米中露との関係…。脱北した高位外交官が、外交文書、公電の原文に基づいて、金正恩の独裁システムの全貌を明かす。

日本経済新聞 2025/11/29

2025:10./ 333p  
978-4-8191-1463-9

¥1,980〔税込〕



## ウェルビーイングな日本

三浦展 著

而立書房

AI化、人手不足、超高齢社会、気候変動…。激動の時代をどうとらえるか。コロナ禍以後に変化した人々の生活、仕事の仕方、都市空間を分析しながら、ウェルビーイング(穏やかな日常)をキーワードに日本の未来像を展望する。

日本経済新聞 2025/11/29

2025:10./ 325p  
978-4-88059-449-1

¥2,420〔税込〕







## 海風クラブ

呉 明益 著

KADOKAWA

タロコ族の少年と、人買いから逃げる漢人の少女が、山の洞穴(実は巨人の身体)の中で出会う。時が経ち、陽光と涼風に恵まれた小さな集落に、巨大なセメント工場が建設されることになり…。壮大で不思議な物語。

毎日新聞 2025/11/01

2025:5./ 478p

978-4-04-114688-0

¥3,080〔税込〕



## 8週間語学の旅〜水先案内人はずれっちと様々な言語の海へ〜

山本 冴里 著

KADOKAWA

ギリシャ語、スワヒリ語、韓国語など、学生たちが見知らぬ言語に立ち向かう8週間の追体験。また、「初めて目にする言語をどのように読みとくか」をテーマに、多言語を素材にしたトレーニングも収録する。

毎日新聞 2025/11/01

2025:8./ 239p

978-4-04-606948-1

¥1,980〔税込〕



## Tシャツの日本史

高畑 欽名 著

中央公論新社

<裾>をインするかアウトするか。ファッション史の壮大な死角であるTシャツには、日本の同調圧力と美の仕組みが隠されていた。夏目漱石の「赤シャツ」や石原裕次郎と太陽族など、Tシャツの激動の150年を追う。

毎日新聞 2025/11/01

2025:8./ 253p

978-4-12-005940-7

¥2,200〔税込〕



## YABUNONAKA-ヤブノナカ-

金原 ひとみ 著

文藝春秋

ある女性が、かつて文芸誌元編集長の木戸から性的搾取をされていたとネットで告発した。出版界を舞台に性、権力、暴力、愛につき動かされる人間たちのドラマは予想もつかないクライマックスへ…。『文藝界』連載を加筆・修正。

毎日新聞 2025/11/01

2025:4./ 527p

978-4-16-391968-3

¥2,420〔税込〕



## きちんとことばを伝えるための10章〜コミュニケーションに役立つ日本語の10章〜

山下 洋子、白勢 彩子 著

朝倉書店

発声の仕組み、日本語らしい音節、アクセント、イントネーションなど、日本語の音声の基本と、朗読、面接での対話、質問の作法、話の聞き方といった音声によるコミュニケーションの上手な方法を解説する。

毎日新聞 2025/11/01

2025:9./ 128p

978-4-254-51711-8

¥2,420〔税込〕





### 廃線だけ～昭和の棄景～

丸田 祥三 著

実業之日本社

廃線写真のパイオニアにして唯一無二の存在であり続ける写真家・丸田祥三が、幼き頃から昭和末期にかけて撮り続けてきた、幻のような、しかし、確実にそこにあった「昭和の棄景」136点を収録する。本体は背表紙なし糸綴じ。

毎日新聞 2025/11/01

2025:10./ 164p  
978-4-408-33854-5

¥3,850〔税込〕



### アルツハイマー病の一族～病を受け継ぐ遺伝子と医師たちの闘い～

ジェニー・エリン・スミス 著

原書房

コロンビアの山奥に若年性アルツハイマー病が遺伝する一族がいる。この驚くべき遺伝病の真相を追い始めた医師たちはやがて、世界初の認知症治療薬の開発をめざして医学史の一步を踏み出し…。知られざる40年の闘いの記録。

毎日新聞 2025/11/01

2025:8./ 423p  
978-4-562-07563-8

¥3,080〔税込〕



### Tsu - tsu - mu～世界をやさしく繋ぐデザインの作法～

色部 義昭+日本デザインセンター 色部デザイン研、土田 貴宏 著

パイインターナショナル

「包む」という行為を探る一冊。卵、おにぎり、パッケージ、椅子、美術館などの事例から「包む=ケア」という新たな視点でデザインを捉え直し、その普遍的な価値を7つのテーマで解き明かす。松屋銀座で開催の展覧会の図録。

毎日新聞 2025/11/01

2025:10./ 243p  
978-4-7562-6050-5

¥3,080〔税込〕



### エリザヴェータ・バーム/気狂い狼～オペリウ・アンソロジー～

小澤 裕之 編

ダニイル・ハルムス／アレクサンドル・ヴヴェージェンスキー／ニコライ・ザボロツキー／コンスタンチン・ヴァーギノフ／イーゴリ・パーフチェレフ／ドイヴベル・レーヴィン／ユーリイ・ウラジーミロフ／アレクサンドル・ラズモフスキー／クリメンチー・ミンツ／ニコライ・オレイニコフ／レオニード・リパフスキー／ヤコフ・ドゥルースキン 著

書肆侃侃房

100年前、当時無名の若者たちによって結成された「オペリウ」は、20世紀前半のロシアにおける文学的実験の頂点をきわめることとなった。「オペリウ」周辺の12名の代表作を収録する。

毎日新聞 2025/11/01

2025:9./ 493p  
978-4-86385-681-3

¥3,300〔税込〕





## 大学の使命を問う

石井 洋二郎 著

藤原書店

日本の大学が、今、担うべき役割とは何か？ 40 年以上にわたり大学教育と管理運営の現場に携わった著者が、「教養」のあり方の再定義、文系軽視への警鐘、学長選考と大学・学問の自治といったさまざまな切り口から考察する。

毎日新聞 2025/11/01

2025:8./ 238p

978-4-86578-468-8

¥2,420〔税込〕



## これからの友情

丸田洋渡／丸田洋渡／丸田 洋渡 著

ナナロク社

藤が人語を初めて話すときそれは垂れるように不完全だった アルミニウムの胸をかかえてびかびかの官吏とのぎりぎりの駆け引き 2017 年から 2025 年までの作品から 500 首を収録した歌集。

毎日新聞 2025/11/01

2025:9./ 500p

978-4-86732-034-1

¥2,860〔税込〕



## 倉本聰の姿勢

エフジー武蔵

脚本家、教育人、演劇人、自然人としての倉本聰に迫る。小山薫堂や仲代達矢との対談をはじめ、倉本ドラマの裏側、富良野塾の 26 年、提言「ヒトに問う～東日本大震災に寄せて」などを収録する。

毎日新聞 2025/11/01

2012:7./ 361p

978-4-906877-05-8

¥1,885〔税込〕



## 私労働小説～負債の重力にあらがって～

ブレイディ みかこ 著

KADOKAWA

フロアスタッフ、激安量販店の店員、屋敷の掃除人、ローンの督促人、「底辺託児所」の保育士…。著者が経験した数多のシット・ジョブを軸に、「私労働」の日々を描く自伝的連作短編集。『小説野性時代』掲載を書籍化。

毎日新聞 2025/11/01、産経新聞 2025/11/23

2025:10./ 271p

978-4-04-114142-7

¥1,870〔税込〕



## 詳伝小杉放菴～近代日本を生きた画家とその交流～(筑摩選書 0311)

川村 伸秀 著

筑摩書房

漫画家、洋画家、日本画家、歌人、テニスプレイヤー、日本美術院再興、春陽会設立…。マルチな才能に満ちた画家・小杉放菴の本格評伝。独自の表現を追求め、多くの同時代人と集った生涯を活写する。

毎日新聞 2025/11/01、東京・中日新聞 2025/11/30

2025:8./ 408p

978-4-480-01827-4

¥2,750〔税込〕





## 福音派～終末論に引き裂かれるアメリカ社会～(中公新書 2873)

加藤 喜之 著  
中央公論新社

独特の終末論的な世界観を持つアメリカの福音派は、いつから勢力を拡大し、政治的・文化的闘争に関与していったのか。アメリカの人種差別や中絶・同性婚問題、イスラエルとの関係などに福音派がいかに関わったのかを描く。

2025:9./ 312p  
978-4-12-102873-0

¥1,320〔税込〕



毎日新聞 2025/11/01、読売新聞 2025/11/02



## うまれたての星

大島真寿美 著  
集英社

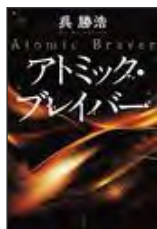
1969年、人類が月面着陸した年。出版社に就職した牧子は、漫画雑誌の編集部配属され…。女の子が女の子のために物語を描き始めた“あの頃”を、あますところなく描き出す。『小説すばる』掲載を加筆・修正。

2025:10./ 637p  
978-4-08-770016-9

¥2,750〔税込〕



毎日新聞 2025/11/03



## アトミック・ブレイバー

呉 勝浩 著  
光文社

世界同時多発テロから27年。平凡なサラリーマン・堤下与太郎は、突如世界の命運を託される。与太郎だけがプレイできる格闘ゲームに、世界を揺るがすシステムに関わる鍵があるというが…。『ジャーロ』掲載を単行本化。

2025:10./ 461p  
978-4-334-10798-7

¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2025/11/03



## あなたがたの島へ～ハンセン病療養所と私～

沢 知恵 著  
岩波書店

生後6か月で行った瀬戸内海の島に、歌手となって再訪し、以来四半世紀以上、毎年、無料コンサートをつづける著者。ハンセン病療養所の入所者とかかわりを深めながら、泣いて笑った日々を綴る。

2025:9./ 198p  
978-4-00-061716-1

¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2025/11/08



## うたに刻まれたハンセン病隔離の歴史～園歌はうたう～(岩波ブックレット 1070)

沢 知恵 著  
岩波書店

「民族浄化」「大家族」「楽土」の歌詞を、声あわせうたったハンセン病療養所の園歌。だれが何の目的でつくったのか。ハンセン病回復者とかかわりつづけた著者が、そのなぞを追った記録。園歌が聴けるQRコード付き。

2022:11./ 88p  
978-4-00-271070-9

¥748〔税込〕



毎日新聞 2025/11/08



## 原発避難計画の虚構～公文書が暴く冷酷な国家の真意～

日野 行介 著

朝日新聞出版

原発再稼働を進めるため、虚構と知りつつ避難計画を作っているのではないか？

2020 年から原発避難計画の取材を始め、国や自治体、国立研究開発法人に情報公開請求を繰り返してきた調査報道記者が、隠された真実を暴く。

毎日新聞 2025/11/08

2025:10./ 333p  
978-4-02-252094-4

¥2,420〔税込〕



## 日本領サイパン島の一萬日(中公文庫 の21-1)

野村進 著

中央公論新社

リゾート地のイメージが定着しているサイパン島は、第一次世界大戦中の 1914 年からアメリカが占領する 44 年まで、日本の統治下に置かれた。楽園を求めて南の島に渡った 2 つの家族を通して、その歴史をダイナミックに描く。

毎日新聞 2025/11/08

2025:7./ 528p  
978-4-12-207681-5

¥1,650〔税込〕



## 狼の紋章(エンブレム) 新版(ハヤカワ文庫 JA 1311)

平井 和正 著

早川書房

<悪徳学園>と称される東京の私立中学校に転校してきた犬神明。悪辣きわまりなき非行少年たちとの凄惨な対決にも関わらず、<死>を知らぬ彼の正体に、女教師・青鹿晶子は魅せられていくが…。生頼範義の挿絵も収録。

毎日新聞 2025/11/08

2018:1./ 312p  
978-4-15-031311-1

¥946〔税込〕



## 彼の左手は蛇

中村 文則 著

河出書房新社

毒蛇狩り、白蛇を祀る神社とその宮司、蛇を求める女、議員の死とそれを調べる刑事、そして Apep。蛇信仰のあるこの地に来た男は、ある目的のため“1 人”で動き出す。『スピン』連載を大幅に加筆修正。

毎日新聞 2025/11/08

2025:11./ 189p  
978-4-309-03231-3

¥1,760〔税込〕



## つながるからだ

シシヤマザキ 著

光文社

私は私をもっと喜ばせたい。喜びながら、くるくるまわりながら、のびのびと広がっていったらいい。NHK ドラマ「虎に翼」オープニングアニメーション担当・シシヤマザキによる、からだにフォーカスした作品集。

毎日新聞 2025/11/08

2025:10./ 121p  
978-4-334-10805-2

¥3,850〔税込〕







### 昭和期の陸軍(筑摩選書 0309)

筒井 清忠 著

筑摩書房

大正時代の陸軍の考察から、昭和陸軍の派閥抗争史、二・二六事件の真相とその研究史まで、昭和陸軍の理解に不可欠な論考を収録。昭和戦争史のブックガイドも収録。

毎日新聞 2025/11/08

2025.7./ 352p

978-4-480-01830-4

¥2,090〔税込〕



### ふらっとアフリカ

藤原章生 著

毎日新聞出版

23年ぶりに、アフリカにとっぷり浸かってみた! モロッコ、西サハラ、ギニア、リベリア、南アフリカ...。紙袋ひとつ持って「旧友たち」のもとへ向かった灼熱大陸清貧一人旅の記録。『毎日新聞』連載等を大幅に加筆修正。

毎日新聞 2025/11/08

2025.7./ 246p

978-4-620-32842-3

¥1,650〔税込〕



### 幸徳秋水〜理想的、革命的、急進的ならん〜(ミネルヴァ日本評伝選)

馬淵 浩二 著

ミネルヴァ書房

日露戦争が近づくと『平民新聞』を立ち上げて非戦論を展開し、のちに無政府主義へ接近するが、激しい弾圧に遭い、ついには大逆事件に連座し刑死した幸徳秋水。「近代日本」を告発し続けた思想家の、犠牲の意味を問う本格評伝。

毎日新聞 2025/11/08

2025.10./ 280p

978-4-623-09956-6

¥3,300〔税込〕



### 神秘のフクロウ〜聖なる使い魔の生態と魔術〜

リエカ・ムーンソング／柴田佳秀 著

グラフィック社

夜の闇を自由に飛び回り、知恵や興奮の象徴とされるフクロウ。美しいイラストを交え、フクロウの生態、神話や民間伝承などを紹介。呪文、儀式、瞑想を通じたフクロウの魔術の実践方法も収録。

毎日新聞 2025/11/08

2025.9./ 159p

978-4-7661-3983-9

¥2,090〔税込〕



### 資本主義の敵(韓国文学セレクション)

チョン・ジア 著

新泉社

発禁作「パルチザンの娘」でデビューし、「父の革命日誌」が大ベストセラーを記録した韓国の女性作家チョン・ジアの短篇集。表題作など、純文学と諧謔的コメディが交錯するなかで実存的な問いを鋭く掘り下げた全9篇を収録。

毎日新聞 2025/11/08

2025.10./ 247p

978-4-7877-2521-9

¥2,420〔税込〕





### 京都出町のエスノグラフィ〜ミセノマの商世界〜

有馬恵子 著

青土社

京都市北部「出町」における、<もの>の交換を通じて発生する社会関係と、自律的・共同体的な関係性に着目。それらが行われる「店」と店を取り巻く商世界の様相を、エスノグラフィック・リサーチを用いて描く。

毎日新聞 2025/11/08

2025.7./ 453p  
978-4-7917-7717-4

¥4,620〔税込〕



### 百日と無限の夜

谷崎 由依 著

集英社

切迫早産で入院中の「わたし」のもとを訪れた一人の女。彼女は能「隅田川」に登場する女物狂いだった。彼女を案内人に、「わたし」と“班女”の時空を超えた道行きは続き…。出産幻想文学。『すばる』掲載を加筆修正し書籍化。

毎日新聞 2025/11/08、朝日新聞 2025/11/15、読売新聞 2025/11/30

2025.9./ 297p  
978-4-08-770010-7

¥2,420〔税込〕



### 研修生

多和田 葉子 著

中央公論新社

日本を飛び出しドイツの書籍取次会社で研修生になった「わたし」。新生活の戸惑いのなか重ねるのは、多様なひとたちとの身近な交流。やがてゆるやかに、未来への糸口が見えてきて-。『読売新聞』連載を単行本化。

毎日新聞 2025/11/08、読売新聞 2025/11/09、日本経済新聞 2025/11/22

2025.10./ 508p  
978-4-12-005960-5

¥2,970〔税込〕



### 栽培植物と農耕の起源 改版(岩波新書 青版 G-103)

中尾 佐助 著

岩波書店

イネをはじめ、ムギ、イモ、バナナ、雑穀、マメ、茶など人間生活と切り離すことのできない栽培植物の起源を追求して、アジアの奥地やヒマラヤ地域、南太平洋の全域を探索した貴重な記録。

毎日新聞 2025/11/15

2020.12./ 222p  
978-4-00-416103-5

¥880〔税込〕



### キテレツ絵画の逆襲〜「日本洋画」再発見〜

三浦 篤／森村 泰昌 著

新潮社

明治初期の写真画、裸体画問題、戦時中の戦争画と前衛絵画…。近代洋画から滲みでる奇妙な混乱と違和感が唯一無二の輝きに反転する! 近代洋画を愛する著者2人が、ゲストたちと繰り広げた討論集。『芸術新潮』連載を書籍化。

毎日新聞 2025/11/15

2025.9./ 198p  
978-4-10-355582-7

¥2,750〔税込〕





## シン・アナキズム～世直し思想家列伝～(NHK ブックス 1295)

重田 園江 著

N H K 出版

J・ジェイコブズからグレーバー、「ねこ&森政稔」まで、思想家たちの格闘を生き生きと解説。5人のアナキストの生き方と思想を追い、現代の問題の根源を摘出する。『本がひらく』連載を書籍化。

毎日新聞 2025/11/15

2025:7./ 428p  
978-4-14-091295-9

¥2,420〔税込〕



## 意識はどこからやってくるのか(ハヤカワ新書 040)

信原 幸弘／渡辺 正峰 著

早川書房

物質の塊にすぎない脳に、なぜ意識が生じるのか。「私」を機械に移す方法とは。データになっても「大往生」できるのか。マインドアップローディングの実現を目指す脳科学者と、「心の哲学」の第一人者が、意識に迫る対話録。

毎日新聞 2025/11/15

2025:2./ 182p  
978-4-15-340040-5

¥1,276〔税込〕



## 理系の読み方～ガチガチの理系出身作家が小説のことを本気で考えてみた～

大滝 瓶太 著

誠文堂新光社

カフカの「変身」や「城」を熱力学的に読んでみるとどうなるか。ミステリはなぜ解けるのか。いい感じの文章が小説っぽく見えるのはどうしてか。古今東西の名作を題材に、小説を理系的に読み解く読書エッセイ。

毎日新聞 2025/11/15

2025:10./ 223p  
978-4-416-72368-5

¥1,980〔税込〕



## わたしは小学生 改訂新版

蒲池 美鶴 著

創元社

昭和33年に小学校1年生になった著者が、6年生卒業の日まで書き続けた日記のなかから、全国児童生徒作品コンクール・総理大臣賞受賞作を含む全69篇を精選。昭和48～49年のヨーロッパ留学時に両親に宛てた手紙も収録。

毎日新聞 2025/11/15

2025:8./ 253p  
978-4-422-93120-3

¥2,310〔税込〕



## 絶賛語辞典

大修館書店編集部 編

関根 健一 著

大修館書店

心に響く褒め言葉＝「絶賛語」を選ぶための辞典。「いい感じ」「かわいい」「泣ける」「空気が読める」など褒め言葉とその類語、2000語以上を例文付きで紹介。注意したい言葉の使い方やニュアンスも解説。五十音索引付き。

毎日新聞 2025/11/15

2025:8./ 256p  
978-4-469-22290-6

¥1,980〔税込〕





## 90歳、凛として生きる

小山明子 著

毎日新聞出版

17年にわたる夫・大島渚監督の介護と看取り。その後、乳がん、大動脈弁狭窄症、脊柱管狭窄症、肺がん、コロナうつを発症。数々の困難を乗り越えてきた女優が、知恵とユーモアで「今」を楽しむ極意を語る。

毎日新聞 2025/11/15

2025.9./ 250p

978-4-620-32845-4

¥1,210〔税込〕



## 死んでいるのに、おしゃべりしている!

暮田 真名 著

柏書房

川柳に出会わなければわたしはとっくにこの世にいなかった-。業界最注目 of 川柳人が、自分には<人間をうまくやれない>と思わされてきた者たちに贈るエッセイ集であり、極私的な回復記。

毎日新聞 2025/11/15

2025.9./ 174p

978-4-7601-5638-2

¥1,760〔税込〕



## 半うつ～憂鬱以上、うつ未満～

平 光源 著

サンマーク出版

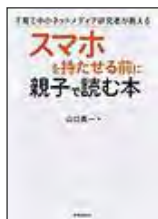
仕事も家事もできるし、病院に行くほどではないけれど、憂鬱を超えた不快感がある。そんな「半うつ」について解説し、その対処法を具体的に紹介する。半うつチェックリスト付き。

毎日新聞 2025/11/15

2025.9./ 231p

978-4-7631-4254-2

¥1,650〔税込〕



## 子育て中のネットメディア研究者が教えるスマホを持たせる前に親子で読む本

山口真一 著

時事通信出版局

わが子を“炎上”させたくない保護者必見! 子育て中のネットメディア研究者が、SNS・AI時代の「心のあり方」「どう生きるか」をストーリーをひも解きながら解説する。チェックリスト付き。

毎日新聞 2025/11/15

2025.10./ 199p

978-4-7887-2072-5

¥1,980〔税込〕



## フランス中世史<1> カペー朝の革新

佐藤 彰一 著

名古屋大学出版会

フランクからフランスへ-。グローバルな視座で政治・社会・経済を一望する本格的通史。1は、弱小な王権が西欧最強の君主へと飛躍する過程を、都市・領邦からスラヴ・地中海・中東まで広がるネットワークの中で描く。

毎日新聞 2025/11/15

2025.8./ 544p

978-4-8158-1203-4

¥8,800〔税込〕





## 能力社会から共同体自治へ～競争と排除を乗り越える教育と福祉実践～

荒井和樹 著

せせらぎ出版

福祉や教育の分野をもむしばむ能力主義や競争社会。そこから脱却し、「支援者」と「要支援者」に分けない非援助的アプローチで、人々が“仲間”として関わり合う共同体自治の実践を描く。

毎日新聞 2025/11/15

2025:10./ 231p  
978-4-88416-321-1

¥1,980〔税込〕



## 口訳太平記～ラブ&ピース～

町田 康 著

講談社

執権・北条高時が権勢をふるう鎌倉時代末期。武家政権の転覆をめざすも失敗し、窮地に陥った後醍醐天皇の前に、天才戦略家・楠木正成が現れ…。日本最大の軍記物語「太平記」を、町田康が口訳。『群像』掲載を書籍化。

毎日新聞 2025/11/15、朝日新聞 2025/11/22

2025:9./ 484p  
978-4-06-540792-9

¥2,750〔税込〕



## アイヌ神謡集(岩波文庫 赤 80-1)

中川 裕 著

岩波書店

詩才を惜しまれながら 19 歳で世を去ったアイヌの少女・知里幸恵が編んだアイヌ神謡集。アイヌ民族の間で口伝えに謡い継がれてきたユーカラの中から神謡 13 篇を選び、音を起したローマ字と日本語訳を併記。新たに解説を付す。

毎日新聞 2025/11/22

2023:8./ 212p  
978-4-00-320809-0

¥836〔税込〕



## 裁判官はなぜ葬られたか～絶望の弾劾裁判～

岡口基一 著

講談社

超有名判事が、SNS 投稿を理由に戦後 8 人目の罷免判決を受けた。裁判官が「法と良心」より大事にする暗黙の規範を、前代未聞の弾劾裁判から明らかにする。

毎日新聞 2025/11/22

2025:10./ 333p  
978-4-06-541371-5

¥1,980〔税込〕



## チェロ湖

いしい しんじ 著

新潮社

弦楽器のかたちの湖で、小舟に揺られる若い男。釣り糸の先に、祖母が遺した蓄音器の針を括って湖水に垂らすと、そのまっすぐな針が、百年にわたる家族の「ものがたり」を釣りあげ…。『新潮』掲載を単行本化。

毎日新聞 2025/11/22

2025:10./ 908p  
978-4-10-436305-6

¥5,500〔税込〕







## 痛いところから見えるもの

頭木 弘樹 著

文藝春秋

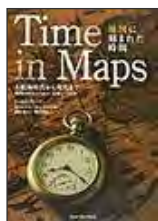
なぜ痛みは人に伝わりづらいのか？潰瘍性大腸炎から腸閉塞まで、絶望的な痛みとともに生きていた著者が、同じ体験していない人にも共感してもらえるよう、「痛み」という個人的な体験を文学作品を多用しながら語る。

毎日新聞 2025/11/22

2025:9./ 318p

978-4-16-392017-7

¥1,870〔税込〕



## Time in Maps 地図に刻まれた時間〜大航海時代から現代まで-地図は時をどのように表現してきたか〜

ケーレン・ヴィーゲン／キャロライン・ウィンタラー 編

ケーレン・ヴィーゲン／キャロライン・ウィンタラー 著

ニュートンプレス

「時間」という視点から見えてくる地図の隠された魅力とは？アステカ帝国、近世日本、19世紀アメリカ…。過去500年間の世界中の地図を対象に、地図がどのように時間を表現してきたのかを考察する。カラー図版多数掲載。

毎日新聞 2025/11/22

2025:9./ 213p

978-4-315-52952-4

¥2,979〔税込〕



## コソコソさんの紅い花

田本真啓 著

新日本出版社

図書館の清掃員として働く山村春人は、自分をコソコソとつけ回す何者かの気配を感じ、正体をつきとめようとする。それは、150年前の隠れキリシタンの少女・スミだった…。『しんぶん赤旗』連載を加筆訂正。

毎日新聞 2025/11/22

2025:9./ 190p

978-4-406-06905-2

¥2,420〔税込〕



## あらすじと写真でわかる!はじめての能〜これだけは知っておきたい名作50選〜

多田富雄／森田拾史郎 著

世界文化社

はじめて能楽を鑑賞する人に向けた入門書。能の演目を、「男」「女」「鬼」にジャンル分けしてあらすじと見どころを紹介。美しい舞台写真とともに、能の魅力を深く伝える。

毎日新聞 2025/11/22

2025:11./ 127p

978-4-418-25228-2

¥2,200〔税込〕



## 修羅場の王〜企業の死と再生を司る「倒産弁護士」142日の記録〜

大西 康之 著

ダイヤモンド社

稲盛和夫と並ぶ JAL 再生のもう一人の立役者、瀬戸英雄。法的整理の鬼と呼ばれた彼は、政・官・業・労のしがらみを断ち切ってわずか142日で JAL を倒産させ、復活への道を拓いた。法と度胸を武器に戦う倒産弁護士の秘録。

毎日新聞 2025/11/22

2025:10./ 421p

978-4-478-11576-3

¥2,200〔税込〕





## 暗黒のアメリカ～第一次世界大戦と追い詰められる民主主義～

アダム・ホックシールド 著

みすず書房

国を戦争に導いた権力者から、選挙運動で外国人の「追い出し」を唱える政治家、自由を求めた抵抗者まで、第一次世界大戦という米最暗黒時代を活写する。敵意が渦巻く政治空間に生きる 21 世紀の人のためのノンフィクション。

毎日新聞 2025/11/22

2025.9./ 488p  
978-4-622-09804-1

¥4,950〔税込〕



## アメリカ映画に学ぶリスクマネジメント～決断と危機突破のハリウッド～

亀井 克之、杉原 賢彦 著

ミネルヴァ書房

アメリカ映画はいかに危機を乗り越えるかを教えてくれる! 往年の名作から近年の話題作まで約 40 作品を取り上げ、そのあらすじと見どころを紹介したうえで、作品の内容に即してリスクマネジメントの要諦を解説する。

毎日新聞 2025/11/22

2025.10./ 352p  
978-4-623-09972-6

¥2,750〔税込〕



## 地方女子たちの選択

上野 千鶴子、山内 マリコ、藤井 聡子 著

桂書房

地方都市の女性たちは、なにを背負い、苦しみ、逃げ、求め、掴み、どう生きてきたのか。富山出身の 2 人の著者が、富山にゆかりのある女性 14 人の語りを聞き取り、その貴重な声を伝える。

毎日新聞 2025/11/22

2025.7./ 265p  
978-4-86627-165-1

¥1,980〔税込〕



## 科学社会学への招待

マッシミアーノ・ブッキ、伊藤 憲二、水島 希、藤木 信穂 著

さいはて社

閉じた科学者共同体から、社会に開かれた思考集合体へ。科学と社会の間に発生する問題について考えるための入門書。21 世紀までの科学社会学を概観し、新たな科学像を提示する。

毎日新聞 2025/11/22

2025.11./ 244p  
978-4-9912486-7-2

¥3,300〔税込〕



## 検事の心得～元東京地検特捜部長の回想～

伊藤鉄男 著

中央公論新社

そのとき、検察の内部で何が起きていたか。数々の重要事件に関わった元東京地検特捜部長が、約 36 年間の検事生活を辿りながら、検事の仕事や生活など、検察の実際の姿を紹介する。

毎日新聞 2025/11/22、朝日新聞 2025/11/29

2025.10./ 270p  
978-4-12-005964-3

¥1,980〔税込〕





**スガモプリズン～占領下の「異空間」～(岩波新書 新赤版 2077)**

内海 愛子 著

岩波書店

敗戦直後、GHQ 占領下に開所したスガモプリズン。外の世界が大きく移り変わるなか、戦犯たちは獄中で何を思い、見つめていたのか。刑務所管理の構造、自治や言論活動などの刑務所運営の全体像を描き、戦争責任を問い直す。

毎日新聞 2025/11/29

2025:8./ 236p  
978-4-00-432077-7

¥1,034〔税込〕



**台北人(岩波現代文庫 文芸 374)**

白 先勇 著

岩波書店

引退前夜のダンスホールの名花、一世を風靡した上海出身の映画スター、食堂係を務める歴戦の勇士、歌声を失った往年の名歌手…。内戦によって台湾へと渡り、大陸への郷愁と過去の追憶に朽ち果てていく外省人を描いた短篇集。

毎日新聞 2025/11/29

2025:9./ 302p  
978-4-00-602374-4

¥1,331〔税込〕



**横しぐれ(講談社文芸文庫)**

丸谷 オー 著

講談社

小説的趣向を存分にこらした名篇「横しぐれ」ほか、丸谷オー独特の世界を展開した短篇 3 作を収録。

毎日新聞 2025/11/29

1990:1./ 312p  
978-4-06-196065-7

¥1,760〔税込〕



**神都の証人**

大門 剛明 著

講談社

突然、父親を奪われた少女に救いは訪れるのか？ 事件の謎は、戦前から令和まで引き継がれる。世代を超えて社会の歪みと戦い続ける者たちの行き着く先とは、いったい何なのか-。『小説現代』掲載を加筆改稿。

毎日新聞 2025/11/29

2025:7./ 498p  
978-4-06-539159-4

¥2,585〔税込〕



**樹影譚(文春文庫)**

丸谷 オー 著

文藝春秋

自分でもわからぬ樹木の影への不思議な愛着。現実と幻想の交錯を描く、川端康成文学賞受賞作。これぞ、短篇小説の快楽! 「鈍感な青年」「樹影譚」「夢を買ひます」収録。

毎日新聞 2025/11/29

1991:7./ 190p  
978-4-16-713809-7

¥572〔税込〕





### 思考のレッスン(文春文庫)

丸谷 オー 著

文芸春秋

仮説は大胆不敵に、ホーム・グラウンドを持って……。究極の読書法、文章の極意、考え方のコツが満載。思考力が飛躍的にアップする本

2002:10./ 278p  
978-4-16-713816-5

¥682〔税込〕



毎日新聞 2025/11/29



### 戦争を展示する〜戦争博物館の過去・現在・未来〜

佐々木 真、原田 敬一、松本 彰 編

大月書店

世界の戦争博物館から 56 館を選び、設立の経緯や展示物などの概要を紹介。国威発揚、ナショナリズム、記憶の継承、文化観光化などのテーマで、変化する姿とその意味に迫る。博物館の所在地&ウェブサイトの QR コード付き。

2025:7./ 360p  
978-4-272-50184-7

¥4,400〔税込〕



毎日新聞 2025/11/29



### 歩いて学ぶ都市経済学

中島 賢太郎、手島 健介、山崎 潤一 著

日本評論社

東京湾岸のタワーマンション、博多駅前のスカイライン…。日本各地の街の何気ない風景に潜む「なぜ」を取り上げ、その背後にあるメカニズムを経済学的に解説。古今東西のデータを使った最新の研究成果も紹介する。

2025:10./ 256p  
978-4-535-54110-8

¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2025/11/29



### 幕末維新史への招待<全国諸藩編>

町田 明広 編

山川出版社

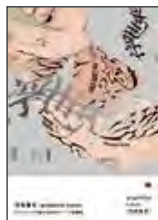
「尊王」「佐幕」では割りきれない。朝廷・幕府・諸藩の関係が目まぐるしく変化した幕末期、親藩・譜代大名・西南雄藩・東北諸藩 19 藩の知られざる動向、他藩との連合・連携の実態等から、幕末政治史の全体像を描き出す。

2025:9./ 271p  
978-4-634-15253-3

¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2025/11/29



### 浮世東京-graphical tokyo〜グラフィックで魅せる 200 のアート新解釈〜

R11R 著

翔泳社

200 人のアーティストが描いたオリジナルイラストと、それをデザイナーが大胆にリデザインした新たな作品を、見開きで収録した新感覚画集。デザインコンセプトのコメントも掲載。本体は背表紙なし糸綴じ。

2025:10./ 407p  
978-4-7981-9318-2

¥4,950〔税込〕



毎日新聞 2025/11/29



## フクロウ～地球上で最も謎めいた鳥の科学～

ナショナル ジオグラフィック 編

ジェニファー・アッカーマン 著

日経ナショナルジオグラフィック社

獲物の位置を瞬時に「数学」で特定する、無音で飛翔する、樹木に擬態する…。フクロウの驚異の能力と生態を最新科学で解き明かし、その個性豊かな生き様から、「知性」とは何かを問いかけるサイエンス・ノンフィクション。

2025:9./ 467p  
978-4-86313-600-7

¥3,630〔税込〕



毎日新聞 2025/11/29



## 日本のうつくしい野菜

warmerwarmer 著

オレンジページ

「かつお出汁」の風味がする菜っ葉、カナリア色のきゅうり、皮が白いなす、中が紅色の大根…。日本の宝ともいえる古来種野菜約 200 種を、四季別に写真とともに紹介。おすすめの食べ方も掲載する。

2025:9./ 255p  
978-4-86593-759-6

¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2025/11/29



## 父の四千冊～アイスランドのアーティストによる回想～

ラグナル・ヘルギ・オウラフソン 著

作品社

出版社を経営していた父親が他界して 8 年。著者は、父の蔵書四千冊の整理という一大事業にようやく手をつけた。大量の蔵書と向き合う日々は、やがて著者を思わぬところへと連れていき…。書物と喪失をめぐるメモワール。

2025:7./ 250p  
978-4-86793-097-7

¥2,860〔税込〕



毎日新聞 2025/11/29